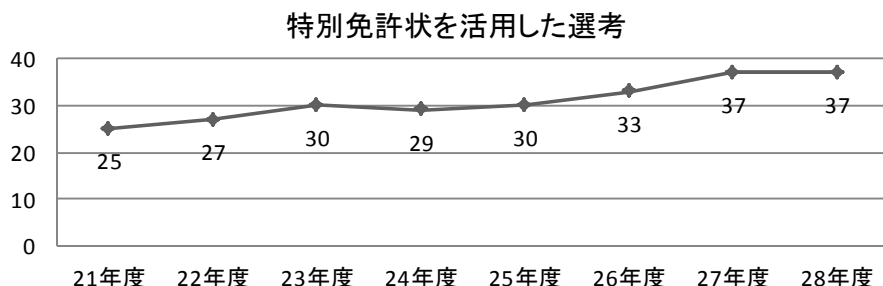


3. 試験免除・特別の選考等

一部試験免除、加点制度及び特別の選考の実施概要

平成 28 年度選考試験において、一部試験免除は 49 県市(前年度 51 県市)、加点制度は 22 県市(9 県市)、特別の選考は 62 県市(前年度 63 県市)で実施された。特別免許状を活用した選考は、37 県市(前年度同)で実施された。



1 特定の資格や経歴をもつことによる一部試験免除

- 英語の資格によるもの19 県市(前年度同)
- スポーツ・芸術での技能や実績によるもの 7 県市(前年度 9 県市)
- 教職経験によるもの38 県市(前年度 40 県市)
- 前年度第 1 次試験(第 2 次試験)合格者であることによるもの
.....29 県市(前年度 26 県市)

など、その他特定資格を有する者について一部試験免除を実施する県市があった。

2 加点制度

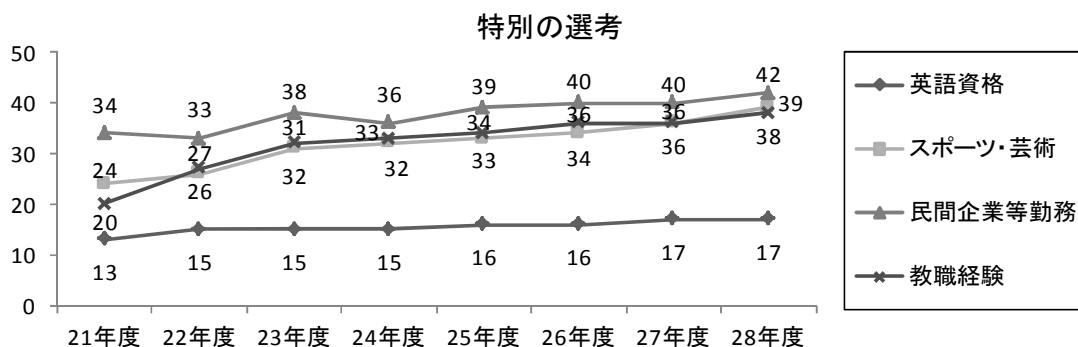
- 英語の資格によるもの16 県市(前年度 8 県市)
- 複数校種又は教科の免許状併有(見込み含む)によるもの
.....16 県市(前年度 9 県市)
- 高等学校「情報」の免許状保有(見込み含む)によるもの
.....5 県市(前年度 4 県市)

など、その他特定資格を有する者について加点制度を実施する県市があった。

3 特別の選考

- 英語の資格によるもの17 県市(前年度同)
- スポーツ・芸術での技能や実績によるもの39 県市(前年度 36 県市)
- 民間企業等勤務経験によるもの42 県市(前年度 40 県市)
- 教職経験(現職教員含む。)によるもの38 県市(前年度 36 県市)

など、その他特定資格を有する者について特別の選考を実施する県市があった。



一部試験免除・特別の選考 総括表

資格や経歴等の例	特定の資格や経歴等をもつことによる一部試験免除・特別の選考																特別 免許状 を活用
	選考方法 参照 ページ	一部 試験 免除 ・ 特別 の 選考	何らかの 一部 試験 免除※		何らかの 特別 の 選考※		英語の資格		スポーツ・芸術 の技能や実績		国際貢献 活動経験		民間企業等 勤務経験		教職経験		
			一部 試験 免除	特別 の 選考	一部 試験 免除	特別 の 選考	一部 試験 免除	特別 の 選考	一部 試験 免除	特別 の 選考	一部 試験 免除	特別 の 選考	一部 試験 免除	特別 の 選考	一部 試験 免除	特別 の 選考	
			76 ページ	170 ページ	86 ページ	179 ページ	90 ページ	197 ページ	96 ページ	205 ページ	102 ページ	226 ページ	298 ページ				
1 北海道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2 青森県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3 岩手県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4 宮城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5 秋田県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6 山形県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
7 福島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8 茨城県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9 栃木県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10 群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○*	○	○	○	○	○	○	○	○	*
11 埼玉県	○	○	○	*	*	*	*	*	*	*	*	○	○	○	○	○	○
12 千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○*	○*	○	○	○	○
14 神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15 新潟県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○	○	○	○*
16 富山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*
17 石川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18 福井県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19 山梨県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○	○	○	○*
20 長野県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○	○	○*	○
21 岐阜県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○	○	○	○
22 静岡県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○	○	○	○
23 愛知県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24 三重県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
25 滋賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26 京都府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27 大阪府	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28 兵庫県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	○	○	○	○
29 奈良県	○	*	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*	○
30 和歌山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31 鳥取県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32 島根県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33 岡山県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34 広島県	○	○	○	○	○	○*	○*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35 山口県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36 徳島県	○	○	○	○	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37 香川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38 愛媛県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
39 高知県	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	*	○	○	○	*
40 福岡県	○	○	*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41 佐賀県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42 長崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43 熊本県	○	○	○	○*	○*	○	○	○	○	○	○	○	○	*	○	○	○
44 大分県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45 宮崎県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46 鹿児島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○*	○*	○	*	○*	○*
47 沖縄県	○	○	○*	○	○	○	*	○*	○	○	○	○	○	○*	○*	○	○

資格や経歴等の例	特定の資格や経歴等をもつことによる一部試験免除・特別の選考																特別免許状を活用		
	選考方法 参照ページ	一部試験免除・特別の選考	何らかの 一部試験免除※	何らかの 特別の選考※	英語の資格		スポーツ・芸術 の技能や実績		国際貢献 活動経験		民間企業等 勤務経験		教職経験		特別 免許状 を活用				
					一部 試験 免除	特別 の選考	一部 試験 免除	特別 の選考	一部 試験 免除	特別 の選考	一部 試験 免除	特別 の選考	一部 試験 免除	特別 の選考					
					76 ページ	170 ページ	86 ページ	179 ページ	90 ページ	197 ページ	96 ページ	205 ページ	102 ページ	226 ページ		298 ページ			
48 札幌市	○	○	○	○	○		○				○		○	○	○	○	○	○	
49 仙台市	○	○	○						○	○		○	○		○	○	○	○	
50 さいたま市	○	○	○	○*		○*			○		○	○		○		*	○		
51 千葉市	○	○	○	○	○				○	○		○	○	○	○	○	○	○	
52 横浜市	○		○				○		○		○	○		○	○		○		
53 川崎市	○		○	○		○			○		○	○		○	○		○		
54 相模原市	○		○	○		○	○		○		○	○		○	○		○		
55 新潟市	○		○	○		○						○		○	○		○		
56 静岡市	○	*	○												○		○		
57 浜松市	○	○	○						○	○	○		*		○	○	○		
58 名古屋市	○	○		○	○		○	○							○	○			
59 京都市	○	○	○	○	○		○		○		○	○	○		○	○		○	
60 大阪市	○	○	○						○	○		○	○		○	○			
61 堺市	○	○	○						○	○		○	○		○	○		○	
62 神戸市	○	○							○	○		○	○		○	○			
63 岡山市	○		○	○		○	○								○		○	○	
64 広島市	○	○	○				○*		○*			○		○	○		○	○	
65 北九州市	○		○												○		○		
66 福岡市	○	○	○				○		○		○		○	○	○	○	○		
67 熊本市	○	○							○	○		○	○		○	○			
68 豊能地区	○	○	○									*		*	○		○		
	68 (68)	49 (51)	62 (63)	36 (35)	19 (19)	17 (17)	41 (39)	7 (9)	39 (36)	26 (26)	13 (12)	15 (15)	53 (49)	14 (14)	42 (40)	68 (67)	38 (40)	38 (36)	37 (37)

(注) *は前年度から変更のあった県市を表す。また、()内は前年度の数値である。

※ 「何らかの試験免除」「何らかの特別の選考」は、上記「英語の資格」「スポーツ・芸術での技能や実績」等以外の資格や経歴等による試験免除、特別の選考を実施しているものも含む。

1 特定の資格や経歴等をもつことによる一部試験免除

やた試験の免除等の資格の 経歴等資格の 参照ページ	特定の資格や経歴等をもつことによる一部試験免除									加経特 点歴定 制等に 資格よ るや るや		
	一部試験免除	英語の資格	情報処理の資格	芸術や実績	スポーツの技術	国際貢献活動	民間企業等勤務経歴	教職経歴	簿用前年度の採 登候補者名		試験合格(2年度第1)	その他
	76 ページ	85 ページ	86 ページ	90 ページ	96 ページ	102 ページ	133 ページ	137 ページ	150 ページ		160 ページ	
1 北海道	○	○	○				○		○	○ 会計資格、情報資格、日高・宗谷・根室管内に限って勤務できる者		
2 青森県	○						○					
3 岩手県	○						○	○			○*	
4 宮城県	○					○	○	○				
5 秋田県	○								○	○ 直近3年の講師登録歴		
6 山形県												
7 福島県	○	○							○			
8 茨城県	○	○		○	○		○				○*	
9 栃木県												
10 群馬県												
11 埼玉県											○*	
12 千葉県	○	○			○	○	○		○*			
13 東京都	○	○			○*	○*	○	○		○ 前々年度又は前年度名簿登載者		
14 神奈川県												
15 新潟県	○	○		○			○	*	○*	○* 高度な技術資格・技術士(農業、森林)(機械、電気・電子、建設)(水産)	○*	
16 富山県	○								○		○*	
17 石川県												
18 福井県	○	○		○	○		○			○ 前年度の試験結果が基準に達しており、かつ「講師等の条件」を満たす者、前年度又は前々年度の試験結果が基準に達しており、かつ教職大学院の2年に在学している者		
19 山梨県												
20 長野県	○						○	○				
21 岐阜県	○						○		○	○ 教職大学院修了予定者		
22 静岡県	○						○	○				
23 愛知県												
24 三重県											○	
25 滋賀県	○	○					○		○	○ 大学推薦		
26 京都府	○	○					○		○			
27 大阪府	○								○		○*	
28 兵庫県	○						*	○		○ 常勤臨時講師、非常勤講師、看護師経験者、前々年度1次試験免除者		
29 奈良県	*	*					*				○	
30 和歌山県	○	○					○		○	*		
31 鳥取県	○							○				
32 島根県	○							○	○			
33 岡山県												
34 広島県	○								○		○*	
35 山口県	○						○		○			
36 徳島県	○			*				○			○	
37 香川県	○	○										
38 愛媛県											○	
39 高知県	○						○*	○	○		○	
40 福岡県	○	○		○			○		○			
41 佐賀県	○						○	○	○		○	
42 長崎県	○			○			○	○	○			
43 熊本県	○	○*			○	○	○	○	○			
44 大分県	○						○	○	○			
45 宮崎県	○	○					○			○* 前年度補欠者		
46 鹿児島県	○	○		○			*				○	
47 沖縄県	○			*			○*				○*	

やた試験 経の免除 等資格の 参考ページ	一部試験 免除	特定の資格や経歴等をもつことによる一部試験免除									加 点 制 度 に よ る 特 定 の 資 格 よ る や	
		英語 の 資格	情 報 処 理 に 関 する 資 格	能 や 実 績 の 技 術 ・ ス ポ ー ツ	動 機 経 験 貢 献 活	勤 務 間 経 験 業 等	教 職 経 験	簿 登 載 者 の 名 採	用 前 年 度 の 採	試 次 前 年 度 第 一 次 合 格		その他
		76 ページ	85 ページ	86 ページ	90 ページ	96 ページ	102 ページ	133 ページ	137 ページ	150 ページ		160 ページ
48 札幌市	○	○	○				○		○	○ 簿記、税理士、公認会計士、情報処理技術者試験、基本情報技術者試験合格者		
49 仙台市	○				○	○	○	○				
50 さいたま市	○						*			○ 前年度採用選考試験の補欠の者、 ○ 「臨任採用」の者で、同一校種・教科等を受験する場合。		
51 千葉市	○	○			○	○	○		○*			
52 横浜市												
53 川崎市												
54 相模原市												
55 新潟市											○*	
56 静岡市	*									*	○*	
57 浜松市	○				○		○	○	○		○	
58 名古屋市	○	○		○			○			○ なごや教師養成塾卒業見込み者		
59 京都市	○	○					○	○	○	○ 志願する教科の普通免許状所持又は取得見込み者	○*	
60 大阪市	○				○	○*	○		○	○ 大学院進学による辞退者、大阪市教師養成講座修了者	○*	
61 堺市	○				○	○	○				○	
62 神戸市	○				○	○	○		○	○ 大学、大学院又は教職大学院による推薦(数学、理科又は技術)		
63 岡山市												
64 広島市	○								○		○*	
65 北九州市												
66 福岡市	○						○		○			
67 熊本市	○				○	○	○					
68 豊能地区	○								○			
	49 (51)	19 (19)	2 (2)	7 (9)	13 (12)	14 (12)	38 (40)	8 (9)	29 (26)	15 (24)		22 (9)

(注) *は前年度から変更のあった県市を表す。また、()内は前年度の数値である。

(1) 英語の資格による免除

(北海道・札幌市)

対象となる校種・教科	中学校、高等学校並びに特別支援学校(中学部及び高等部)の英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	中・特中 ³⁹ 高・特高 ⁴⁹	歳以下				
資格要件	・実用英語技能検定1級の合格者 ・TOEFL PBT580点(iBTの場合92点)以上取得者 ・TOEIC 860点以上取得者							
資格要件の確認方法	当該実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し若しくは原本を出願時に提出(写しを提出した場合は第1次検査時に原本を確認)							
免除される試験科目	第1次検査～専門検査(I) 第2次検査～実技検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		13	25	1			39
	平成26年度採用者数(名)		4	9	0			13
	平成27年度受験者数(名)		3	29	1			33
	平成27年度採用者数(名)		1	9	1			11
	平成28年度受験者数(名)		5	21	0			26

(福島県)

対象となる校種・教科	中学校、高等学校、特別支援学校中学部及高等部の英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEFL iBT 96点以上(PBT590点以上でも可)、TOEIC 880点以上							
資格要件の確認方法	証明書の写しを出願時に提出させる。							
免除される試験科目	英語教科試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	3	0			4
	平成26年度採用者数(名)		1	1	0			2
	平成27年度受験者数(名)		0	4	0			4
	平成27年度採用者数(名)		0	1	0			1
	平成28年度受験者数(名)		1	6	0			7

(茨城県)

対象となる校種・教科	中学校教諭・高等学校教諭の英語	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たした方で、さらに次の(ア)～(オ)のいずれかの資格を有する方 【中学校】(ア)TOFEL PBT550点以上、CBT213点以上、iBT80点以上取得者、(イ)TOEIC730点以上取得者、(ウ)実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)準1級合格者、(エ)TOEIC&TOEIC SW 1028点以上、(オ)GTEC CBT 1197点以上 【高等学校】(ア)TOFEL PBT600点以上、CBT250点以上、iBT100点以上取得者、(イ)TOEIC900点以上取得者、(ウ)実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)1級合格者、(エ)TOEIC&TOEIC SW 1216点以上、(オ)GTEC CBT 1338点以上							
資格要件の確認方法	上記資格を証明する書類の写しを提出する。							
免除される試験科目	第1次試験のうち英語の専門教科試験及び口述試験(英会話)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		0	6				6
	平成26年度採用者数(名)		0	2				2
	平成27年度受験者数(名)		16	6				22
	平成27年度採用者数(名)		7	3				10
	平成28年度受験者数(名)		29	6				35

(千葉県・千葉市)

対象となる校種・教科	中・高共通英語	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL590点(CBTの場合240点、iBTの場合95点)以上取得者、TOEIC860点以上取得者のうちいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	出願時に合格証書・公開テスト公式認定証の写し(コピー)を提出							
免除される試験科目	専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		45					45
	平成26年度採用者数(名)		6	10				16
	平成27年度受験者数(名)		36					36
	平成27年度採用者数(名)		6	6				12
	平成28年度受験者数(名)		37					37

(東京都)

対象となる校種・教科	中高共通/英語、特別支援学校/中学部・高等部/英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEIC900点以上、TOEFL(PBT)600点以上、TOEFL(CBT)250点以上、TOEFL(iBT)100点以上のいずれかに該当するもの							
資格要件の確認方法	第一次選考時(第一次選考免除者は、別途郵送による)に証明書(合格証等)の写しを提出							
免除される試験科目	第二次選考・実技							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		48		2			50
	平成26年度採用者数(名)		20		2			22
	平成27年度受験者数(名)		39		4			43
	平成27年度採用者数(名)		23		2			25
	平成28年度受験者数(名)							0

(新潟県)

対象となる校種・教科	中学校教諭・英語、高等学校教諭・英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	1. 実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)1級合格者 2. TOEFL iBT 110点以上 3. TOEIC 945点以上 1.~3.いずれかの条件を満たす者							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しで確認第2次検査で原本を確認							
免除される試験科目	第1次検査の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		1	6				7
	平成27年度採用者数(名)		1	0				1
	平成28年度受験者数(名)		2	8				10

(福井県)

対象となる校種・教科	中学英語・高校英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす英語免許所有者で、平成25年4月1日以降に、実用英語技能検定1級、TOEFL PBT600点・iBT100点以上、TOEIC900点以上(公開テストのみ)のいずれかの実績を取得した者。							
資格要件の確認方法	実施団体の発行する資格証明書(開封無効)又は資格を証明できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	第1次選考試験の一部(一般教養、教職専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		10(10)	10				10
	平成26年度採用者数(名)		2	3				5
	平成27年度受験者数(名)		3(3)	4				4
	平成27年度採用者数(名)		0	2				2
	平成28年度受験者数(名)		5(5)	7				7

※第1希望が「高校英語」となり併願(第2希望)で「中学英語」が選択できる。()内の数字は第2希望の内数。

(滋賀県)

対象となる校種・教科	中学校・英語及び高等学校・英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)1級合格者、TOEFL(国際教育交換協議会)92点(iBT)又は580点(PBT)以上の取得者(平成25年7月以降の取得者に限る。)及びTOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(公式認定証)」)860点以上の取得者(平成25年7月以降の取得者に限る。)は、希望により免除。							
資格要件の確認方法	実施団体の発行する資格証明書の写しを提出させ、第1次選考の筆記試験当日に、資格証明書の原本を提示。							
免除される試験科目	第1次選考の専門教科・科目の試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		9	19				28
	平成26年度採用者数(名)		3	5				8
	平成27年度受験者数(名)		6	17				23
	平成27年度採用者数(名)		2	7				9
	平成28年度受験者数(名)		3	15				18

(京都府)

対象となる校種・教科	中・高英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	TOEFL580点(CBTの場合は237点、iBTの場合は92点)以上取得者、TOEIC860点以上取得者又は実用英語技能検定(公益財団法人日本英語技能検定協会)1級合格者のいずれかに該当する者							
資格要件の確認方法	資格を証明できる書類を第1次試験(筆記試験)当日に持参させて確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		2	20				22
	平成26年度採用者数(名)		0	3				3
	平成27年度受験者数(名)		6	14				20
	平成27年度採用者数(名)		3	2				5
	平成28年度受験者数(名)		1	20				21

(和歌山県1)

対象となる校種・教科	中学校又は高等学校の英語の志願者に対する免除	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間にTOEFL570点以上(iBTの場合は88点以上)、TOEIC800点以上及び実用英語技能検定1級合格のうち、いずれか。							
資格要件の確認方法	実施団体が発行する成績等を証明できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	第一次検査の校種・教科専門							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		11	9				20
	平成26年度採用者数(名)		2	1				3
	平成27年度受験者数(名)		10	13				23
	平成27年度採用者数(名)		2	3				5
	平成28年度受験者数(名)		4	7				11

(和歌山県2)

対象となる校種・教科	中学校及び高等学校の英語以外の全ての校種・教科の志願者に対する免除	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成25年4月1日から平成27年3月31日までの2年間にTOEFL550点以上(iBTの場合は80点以上)、TOEIC730点以上及び実用英語技能検定準1級以上合格のうち、いずれか。							
資格要件の確認方法	実施団体が発行する成績等を証明できる書類の写しの提出							
免除される試験科目	第一次検査の一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	4	0	1	1	0		6
	平成26年度採用者数(名)	2	0	0	0	0		2
	平成27年度受験者数(名)	1	0	1	1	0		3
	平成27年度採用者数(名)	1	0	0	0	0		1
	平成28年度受験者数(名)	4	0	1	1	0		6

(香川県)

対象となる校種・教科	中学校・英語、高等学校・英語、特別支援学校 中学部・英語	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	実用英語検定1級合格者 TOEFL580点(CBT237点、iBT92点)以上 TOEIC850点以上							
資格要件の確認方法	資格証明書又は資格を証明できる書類の写しを出願時に提出させ、1次試験の際に原本を確認する。							
免除される試験科目	英語専門教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		3	13				16
	平成26年度採用者数(名)		1	4				5
	平成27年度受験者数(名)		5	13				18
	平成27年度採用者数(名)		3	4				7
	平成28年度受験者数(名)		5	14				19

(福岡県)

対象となる校種・教科	1. 中学校、高等学校、特別支援学校(中学部、高等部)の英語 2. 小学校	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	1. 実用英語技能検定1級合格者、TOEFL(iBT)100点以上取得者、TOEFL(PBT)600点以上取得者、TOEIC900点以上取得者又はこれらと同様の資格を有する者のうち、特に教育委員会が認めるもの。 2. 実用英語技能検定2級合格者、TOEFL(iBT)42点以上取得者、TOEFL(PBT)440点以上取得者、TOEIC550点以上取得者又はこれらと同様の資格を有する者のうち、特に教育委員会が認めるもの。							
資格要件の確認方法	1. 出願時に資格証明書類を提出させる。 2. 第一次試験合格発表後、資格証明書類を提出させる。							
免除される試験科目	1. 第一次試験の専門教科(リスニングを除く) 2. 第二次試験の英会話実技免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		4	11	1			16
	平成26年度採用者数(名)		2	4	1			7
	平成27年度受験者数(名)			11				11
	平成27年度採用者数(名)			2				2
	平成28年度受験者数(名)	19	3	6				28

(熊本県)

対象となる校種・教科	小・中学校教諭等英語A区分	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	受考資格に加えて、以下のいずれかの資格等を有する者 ・実用英語技能検定(公益財団法人日本英語検定協会)準1級以上合格者 ・TOEFL(国際教育交換協議会)iBT80点以上又はPBT550点以上取得者 ・TOEIC(一般財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会)730点以上取得者							
資格要件の確認方法	「志願手続(第一次提出書類)」に加えて、「受考資格」を証明する書類の写しを提出すること。また、第一次考査当日に、「受考資格」を証明する書類を持参すること。							
免除される試験科目	第一次考査における専門教科							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	1						1

(宮崎県)

対象となる校種・教科	小学校英語、中学校英語、高等学校英語	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語技能検定1級合格者 TOFEL PBT597点以上又はiBT98点以上取得者 TOEIC 860点以上取得者							
資格要件の確認方法	合格証又は認定証の写し等、その資格を証明するものを出願時に提出							
免除される試験科目	リスニング試験							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		2	12				14
	平成26年度採用者数(名)		1	4				5
	平成27年度受験者数(名)		5	8				13
	平成27年度採用者数(名)		3	1				4
	平成28年度受験者数(名)		1	7				8

(鹿児島県)

対象となる校種・教科	中学校英語、高等学校英語、特別支援学校中学部及び高等部英語	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	実用英語検定1級合格者、TOEFL600(PBT)・100(iBT)点以上、TOEIC860点以上取得者							
資格要件の確認方法	出願時に証明できる資格の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される試験科目	1次試験の英語実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		6	7				13
	平成26年度採用者数(名)		2	0				2
	平成27年度受験者数(名)		6	13				19
	平成27年度採用者数(名)		3	1				4
	平成28年度受験者数(名)		6	13				19

(名古屋市)

対象となる校種・教科	全校種	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ			満	49	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定1級[準1級]、TOEFLPBT600点[550点]以上又はCBT240点[213点]以上又はiBT95点[80点]以上、TOEIC900点[730点]以上（〔〕内の基準は、英語免許を所有又は平成28年3月31日までに取得見込みで、小学校を志願する人）							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験〔 〕の基準の人は、「小学校全科」のみ免除。併願の場合は、他校種の「専門」・「実技」の受験が必要）							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		7	6				13
	平成26年度採用者数(名)		2	3				5
	平成27年度受験者数(名)		5	9				14
	平成27年度採用者数(名)		2	2				4
	平成28年度受験者数(名)	5	5	7				17

(京都市)

対象となる校種・教科	中学校・英語 高等学校・英語	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ			満	44	歳以下		
資格要件	実用英語技能検定1級、TOEFLiBT95点以上、TOEIC945点以上のいずれか							
資格要件の確認方法	出願時に各実施団体が発行する証明書の写しの提出							
免除される試験科目	第1次試験における実技試験(リスニング試験)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		8	4				12
	平成26年度採用者数(名)		1	0				1
	平成27年度受験者数(名)		5	6				11
	平成27年度採用者数(名)		0	1				1
	平成28年度受験者数(名)			3				3

(2)情報処理に関する資格による免除

(北海道・札幌市)

対象となる校種・教科	高等学校及び特別支援学校(高等部)の工業及び商業	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	情報処理技術者試験(独立行政法人情報処理推進機構主催)基本情報技術者試験合格者(第2種情報処理技術者試験合格者)又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者							
資格要件の確認方法	当該実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し若しくは原本を出願時に提出(写しを提出した場合は第1次検査時に原本を確認)							
免除される試験科目	第1次検査～専門検査(I)							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			7				7
	平成26年度採用者数(名)			4				4
	平成27年度受験者数(名)			6				6
	平成27年度採用者数(名)			3				3
	平成28年度受験者数(名)			4				4

(3) スポーツ・芸術での技能や実績による免除

(茨城県)

対象となる校種・教科	中学校教諭・保健体育、高等学校教諭・保健体育	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たした者で、①国際大会に日本代表として出場した方(ジュニア選手権等、参加年齢制限を加えた大会を除く)②全国大会において、団体又は個人で優勝若しくは準優勝の成績を収めた方(団体競技の場合、正選手として大会に出場した方、国民体育大会少年の部等、参加年齢制限を加えた大会を除く)、③競技種目は、原則として国民体育大会実施競技(公開競技を含む)とする。							
資格要件の確認方法	スポーツ実績一覧(様式あり)及び実績を証明できる書類の写しを提出する。							
免除される試験科目	第1次試験のうち保健体育の専門教科試験及び実技試験を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		6	12				18
	平成26年度採用者数(名)		2	2				4
	平成27年度受験者数(名)		9	9				18
	平成27年度採用者数(名)		2	4				6
	平成28年度受験者数(名)		8	10				18

(新潟県)

対象となる校種・教科	中学校教諭・保健体育、高等学校教諭・保健体育	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	過去4年間に下記の対象種目において、国体、全日本選手権、全日本学生選手権(1部)等の全国規模の大会で入賞した実績をもつ者。 ・学習指導要領で示されている種目 ・国民体育大会種目(公開競技の内硬式野球を含む) ・全国総合体育大会(インターハイ)種目 ・全国中学校体育大会種目							
資格要件の確認方法	「実績を証明する書類」として次の(1)又は(2)を提出 (1)所属又は競技団体が発行する競技実績証明書 (2)実績を証明できる表彰状、新聞記事、結果が掲載された冊子等の写し							
免除される試験科目	第1次検査における体育実技5種目のうち、1種目							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		11	13				24
	平成26年度採用者数(名)		1	0				1
	平成27年度受験者数(名)		12	8				20
	平成27年度採用者数(名)		0	0				0
	平成28年度受験者数(名)		8	10				18

(福井県)

対象となる校種・教科	中高音楽・中高美術	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす音楽又は美術免許状の所有者で平成22年4月1日以降に国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた者、又は全国レベルのコンクール、展覧会等で極めて優秀な成績を収めた者でそれ以後も引き続き活動を続けている者。							
資格要件の確認方法	コンクールや展覧会の賞状の写し又は団体が発行する成績証明書の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験の一部(一般教養、教職専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)							0

(福岡県)

対象となる校種・教科	高等学校の保健体育	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	<p>高等学校卒業以降に、下記の種目について次の1.又は2.に該当する者のうち、特に教育委員会が認める者</p> <p>1. 国際的規模の競技会(オリンピック、世界選手権、ワールドカップ、アジア競技大会、ユニバーシアード大会)に、日本代表として出場した者</p> <p>2. 全日本選手権又はこれに準ずる全国規模の大会(国民体育大会、全日本学生選手権等)において、優勝又は準優勝(二位)の成績を収めた者(団体競技の場合、正選手として大会に出場した者)</p> <p>対象種目:野球、陸上競技・駅伝競走、体操・新体操、水泳、バスケットボール、バレーボール、卓球、ソフトテニス、ハンドボール、サッカー、ラグビー、バドミントン、ソフトボール、相撲、柔道、剣道、レスリング、弓道、テニス、登山、ボクシング、ウエイトリフティング、ヨット、フェンシング、空手道、アーチェリー、なぎなた、自転車、ボート、カヌー、少林寺拳法</p>							
資格要件の確認方法	<p>出願時に以下の1.~3.を提出させる。</p> <p>1. 競技会の主催者が発行する証明書又は資格を証明できる書類(国際的規模の大会は出場したことが確認できるもの、全国規模の大会の場合はその成績が確認できるもの)の写し</p> <p>2. 競技会の概要が分かる書類(開催要項等)</p> <p>3. (団体競技の場合)正選手として出場したことが分かるメンバー表等</p>							
免除される試験科目	第一次試験の実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			14				14
	平成26年度採用者数(名)			2				2
	平成27年度受験者数(名)			11				11
	平成27年度採用者数(名)			2				2
	平成28年度受験者数(名)			13				13

(長崎県)

対象となる校種・教科	中学校・高校の保健体育	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	国際大会レベルの大会(オリンピック大会、アジア大会等)に日本代表として出場した者、又は日本選手権大会あるいはこれに準ずる大会において優秀な成績を収めた者							
資格要件の確認方法	大会の賞状の写し、又は競技団体が発行する成績証明書等							
免除される試験科目	第1次試験の全て(教職・一般教養、専門教科、体育実技)							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		3	4				7
	平成26年度採用者数(名)		2	2				4
	平成27年度受験者数(名)		2	1				3
	平成27年度採用者数(名)		2	0				2
	平成28年度受験者数(名)		2	2				4

(鹿児島県)

対象となる校種・教科	中学校(保健体育・音楽・美術)、高等学校(保健体育・音楽・美術・書道)、特別支援学校中学部及び高等部(保健体育・音楽・美術)	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	保健体育： 過去3年間に出場した全国レベルの大会における実績で、原則として次の基準を満たす者(個人)8位以内の入賞及び同等の記録等、(団体)4位以内でメンバーとして出場した者 芸術(音楽・美術・書道)： 過去4年間の全国レベルのコンクールや展覧会等で入賞以上の個人成績							
資格要件の確認方法	出願時に証明書の写しを提出(1次試験当日原本確認)							
免除される試験科目	1次試験の体育実技又は音楽実技、美術実技、書道実技							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		4	11				15
	平成26年度採用者数(名)		1	0				1
	平成27年度受験者数(名)		2	11	1			14
	平成27年度採用者数(名)		0	1	0			1
	平成28年度受験者数(名)		3	6	1			10

(名古屋市)

対象となる校種・教科	全校種	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	○ スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人(小・中学校での実績は除く) ・国際規模の競技会などに日本代表として出場した人 ・文部科学省、財団法人日本体育協会又はその加盟団体の主催する全国規模の大会において登録選手として出場し、団体競技3位以内、個人競技8位以内の優秀な成績を収めた人 ○ 芸術等の分野において、国際レベルのコンクール・展覧会等で優秀な成績を収めた人、又は全国レベルのコンクール・展覧会等で極めて優秀な成績を収めた人(小・中学校での実績は除く)							
資格要件の確認方法	実績等を証明するもののコピー							
免除される試験科目	専門試験 実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	8	27	4	1			40
	平成26年度採用者数(名)	4	4	0	0			8
	平成27年度受験者数(名)	7	46		1			54
	平成27年度採用者数(名)	5	5		1			11
	平成28年度受験者数(名)	6	35		3			44

(4) 国際貢献活動経験による免除

(宮城県・仙台市)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	JICA(独立行政法人国際協力機構)が実施するJICAボランティア事業において、「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」として、平成17年4月1日から平成27年3月31日までの10年間に於いて、通算2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の確認方法	出願時に証明書類を提出							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	6	1				8
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	1	3	1				5
	平成27年度採用者数(名)	1	0	0				1
	平成28年度受験者数(名)		2					2

(茨城県)

対象となる校種・教科	一般選考で採用する全校種・職種・教科・科目	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たした者で、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく、青年海外協力隊員として2年以上の派遣実績を有する者。							
資格要件の確認方法	派遣実績証明書(様式あり)、自己推薦書(様式あり)を提出する。							
免除される試験科目	第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	3	2	2	1	0	8
	平成26年度採用者数(名)	0	1	1	0	0	0	2
	平成27年度受験者数(名)	2	0	1	1	0	0	4
	平成27年度採用者数(名)	1	0	0	0	0	0	1
	平成28年度受験者数(名)	3	2	2	3	0	0	10

(千葉県・千葉市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	「青年海外協力隊」及び「日系社会青年ボランティア」として、平成22年4月1日から平成27年3月31日までの5年間に於いて、2年以上の派遣実績を有する者							
資格要件の確認方法	出願時、社会人特例選考申告書を提出 合格後、独立行政法人国際協力機構が証明する「派遣証明書」を提出							
免除される試験科目	教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		1					1
	平成27年度採用者数(名)		0					0
	平成28年度受験者数(名)	2						2

(東京都)

対象となる校種・教科	一般選考で募集している校種等・教科(科目等)	新規・継続			本年度新規			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	以下の全ての要件を満たす者が申込みをすることが可能 1. 平成17年4月1日から平成27年3月31日までの10年間に、独立行政法人国際協力機構法(平成14年法律第136号)に基づく「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」として、派遣経験(教育活動に従事)が2年以上ある者 2. 昭和31年4月2日以降に出生した者							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する派遣証明書							
免除される試験科目	一次選考(教職教養、専門教養、論文)							
免除された試験に代わり課される試験	二次選考で論文、個人面接							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	3		1	1			5

(福井県)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊員として平成22年4月1日から平成28年3月31日までの間に2年以上の派遣実績を有する者(原則として教育に関する国際貢献活動を行ってきた者)							
資格要件の確認方法	独立行政法人国際協力機構が発行する証明書							
免除される試験科目	第1次選考試験の一部(一般教養、教職専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	3(2)	3					4
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	3	3(2)					4
	平成27年度採用者数(名)	2	0					2
	平成28年度受験者数(名)	1	1			1		3

※中学校の欄には中高一括教科の希望者が1名含まれている。()内の数字は第2希望の内数。

(熊本県)

対象となる校種・教科	募集している全ての校種・教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで、継続した2年間の任期を満了した実績を有する者。							
資格要件の確認方法	経験実績を証明する種類の提出							
免除される試験科目	第一次考査における教職科目							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	1	3	1	0	0	7
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	1	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	4	1	0	1	0	0	6
	平成27年度採用者数(名)	0	1	0	0	0	0	1
	平成28年度受験者数(名)	1	1	1	1	0	0	4

(浜松市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	受験資格を満たし、かつ、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊・日系社会青年ボランティアで原則として継続した2年間の実績を有した者							
資格要件の確認方法	派遣実績証明書(青年海外協力隊事務局長による実績証明書)							
免除される試験科目	第1次選考の教職教養・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	課題作文(国際貢献活動経験に関わるテーマ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	2						2
	平成27年度採用者数(名)	1						1
	平成28年度受験者数(名)	1						1

(大阪市)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成22年4月1日から平成27年4月30日までの間に、独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験が通算2年以上ある人。							
資格要件の確認方法	合格者のみ職歴証明書を提出							
免除される試験科目	第1次選考において、筆答テスト50問を30問に減じ、50問の中から自由に30問選択できることとする。その他の試験内容は一般の受験者と同じ。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		1					1
	平成27年度採用者数(名)		0					0
	平成28年度受験者数(名)							0

(堺市)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	1. 「一般選考」の資格要件を満たしていること。 2. 独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊等としての活動経験が平成20年4月1日から平成27年3月31日までに、継続して2年以上あること							
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入 選考試験合格後、在職・勤務証明書を提出							
免除される試験科目	教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2						2
	平成26年度採用者数(名)	1						1
	平成27年度受験者数(名)		2					2
	平成27年度採用者数(名)		0					0
	平成28年度受験者数(名)							0

(神戸市)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	平成27年3月31日までの期間に、法人格を有する同一の民間企業又は官公庁等において、正規従業員、正規職員として継続して3年以上(休職、育児休業等により勤務実態のない期間を除く。)の勤務経験又は青年海外協力隊等として2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の確認方法	在職証明書等の提出							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	36	57	3	7	13	1	117
	平成26年度採用者数(名)	2	0	0	0	0	0	2
	平成27年度受験者数(名)	42	49	5	7	9	6	118
	平成27年度採用者数(名)	2	2	0	2	0	0	6
	平成28年度受験者数(名)	32	46	4	2	15	2	101

<国際貢献活動経験による免除>

(熊本市)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく「青年海外協力隊」として、平成17年4月1日～平成27年4月30日までに2年以上派遣された者。							
資格要件の確認方法	出願時は、願書により確認。合格後は、独立行政法人国際協力機構が発行する証明書を提出させて確認。							
免除される試験科目	第一次試験の試験内容のうち、「教職科目」の筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)	1	2					3

(5) 民間企業等勤務経験による免除

(宮城県・仙台市)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時において、民間企業又は官公庁等(以下「事業所等」という。)の常勤の正規職員(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教育職を除く)であり、平成27年4月1日現在において、5年以上継続して同一事業所等(系列事業所も含む)に正規職員として勤務している者。							
資格要件の確認方法	採用候補者名簿登載後に提出する在職証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	4	6	15		4		29
	平成26年度採用者数(名)	0	0	1		1		2
	平成27年度受験者数(名)	3	8	14		3		28
	平成27年度採用者数(名)	1	1	1		0		3
	平成28年度受験者数(名)	2	7	6		2	1	18

(千葉県・千葉市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	法人格を有する民間企業、官公庁等の正規職員(小・中・高・特別支援学校の教員を除く。)として、現に勤務し、かつ平成27年4月1日時点において、継続して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)勤務している者。							
資格要件の確認方法	出願時、社会人特例選考申告書を提出 合格後、所定の様式で職歴証明書を提出							
免除される試験科目	教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	8	20		3			31
	平成27年度採用者数(名)	0	0	1	1			2
	平成28年度受験者数(名)	10	16		1	2		29

<民間企業等勤務経験による免除>

(東京都)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	平成17年4月1日から平成27年3月31日までの10年間に、次の1.から3.までのいずれかに該当する者 1. 同一の民間企業、官公庁、学校等において、常勤の職として、継続して3年以上勤務経験がある者 2. 民間企業、官公庁、学校等において、常勤の職として、通算して5年以上の勤務経験*がある者 3. 独立行政法人国際協力機構法(平成14年法律第136号)に基づく、「青年海外協力隊」、「日系社会青年ボランティア」、「シニア海外ボランティア」又は「日系社会シニア・ボランティア」として、派遣経験が2年以上ある者							
資格要件の確認方法	名簿登載発表後に、受験資格に必要な職務経験を証明できる在職証明書等を提出する。							
免除される試験科目	第一次選考・択一免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							1,906
	平成26年度採用者数(名)							191
	平成27年度受験者数(名)							1,717
	平成27年度採用者数(名)							259
	平成28年度受験者数(名)							0

(長野県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	民間企業、教職以外の公務員、NPO等の経験が平成28年3月31日現在で3年以上ある者又は青年海外協力隊等の国際貢献活動の経験が平成28年3月31日現在で2年以上ある者							
資格要件の確認方法	履歴書(小、中、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭)又は申込書の履歴欄(高等学校)の記入による							
免除される試験科目	一次選考の筆記試験のうち、一般教養(教職に関するものを含む)							
免除された試験に代わり課される試験	二次選考で面接を2回行う(小、中、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	17	34	50	7	12		120
	平成26年度採用者数(名)	0	4	4	1	1		10
	平成27年度受験者数(名)	22	31	35	7	16		111
	平成27年度採用者数(名)	1	2	5	0	4		12
	平成28年度受験者数(名)	16	28	45	7	10	11	117

<民間企業等勤務経験による免除>

(高知県)

対象となる校種・教科	高等学校「工業(電気・電子)」、「工業(機械)」、「工業(建築)」、「工業(造船)」、「水産(機関)」、「水産(航海)」、「看護」	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		有				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	工業・水産:出願する教科・科目と関連する職務経験が5年以上ある人。 看護:看護師又は保健師のいずれかの免許を有し、病院等における職務経験が5年以上ある人。							
資格要件の確認方法	職務経験を証明する書類							
免除される試験科目	1次審査の教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			4				4
	平成26年度採用者数(名)			2				2
	平成27年度受験者数(名)			2				2
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)			4				4

(佐賀県)

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	民間企業等(教職以外)において、一つの職場で正社員又は正規職員として平成26年3月31日までに5年以上の勤務経験がある者(休職期間等、勤務の実績がない期間は含まない。)							
資格要件の確認方法	所属長の在職証明書を事務局で照合し、確認を行う							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	3	7	0	3	1	15
	平成26年度採用者数(名)	1	1	1	0	0	0	3
	平成27年度受験者数(名)	7	8	6	0	7	0	28
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度受験者数(名)	1	3	6	0	4	0	14

<民間企業等勤務経験による免除>

(熊本県)

対象となる校種・教科	募集している全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	民間企業等に5年以上正規職員としての勤務経験を有する者。							
資格要件の確認方法	経験実績を証明する書類の提出							
免除される試験科目	第一次考査における教職科目							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	5	8	0	0	0	14
	平成26年度採用者数(名)	0	0	1	0	0	0	1
	平成27年度受験者数(名)	2	2	8	0	2	0	14
	平成27年度採用者数(名)	1	0	2	0	1	0	4
	平成28年度受験者数(名)	1	2	11	0	2	0	16

(京都市)

対象となる校種・教科	募集を行う全区分	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	平成22年4月1日から平成27年3月31日までの間で、同一の法人格を有する民間企業又は官公庁等で正社員又は正規職員として、連続して3年以上(休職期間を除く)の勤務歴があること。							
資格要件の確認方法	内定時に職歴証明書を提出							
免除される試験科目	第一次試験で一般・教職教養試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	論文試験							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	19	21	11	5	5	3	64
	平成26年度採用者数(名)	2	3	0	0	0	0	5
	平成27年度受験者数(名)	20	26	7	4	6	3	66
	平成27年度採用者数(名)	2	2	1	0	0	0	5
	平成28年度受験者数(名)	13	25	7	4	3	1	53

<民間企業等勤務経験による免除>

(大阪市)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成22年4月1日から平成27年4月30日までの間に、法人格を有する民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が通算2年以上ある人。							
資格要件の確認方法	合格者のみ職歴証明書を提出							
免除される試験科目	第1次選考において、筆答テスト50問を30問に減じ、50問の中から自由に30問選択できることとする。その他の試験内容は一般の受験者と同じ。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	24	24	14	8	9	2	81
	平成26年度採用者数(名)	7	5	0	2	0	0	14
	平成27年度受験者数(名)	31	33	12	8	5	3	92
	平成27年度採用者数(名)	18	1	2	2	0	0	23
	平成28年度受験者数(名)	34	32	11	0	3	7	87

(堺市)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	1.「一般選考」の資格要件を満たしていること。 2.法人格を有する同一の民間企業又は官公庁等での正社員又は正規職員としての勤務経験が平成20年4月1日から平成27年3月31日までに、継続して3年以上あること。							
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出							
免除される試験科目	教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	19	24				1	44
	平成26年度採用者数(名)	2	1				0	3
	平成27年度受験者数(名)	18	27			2		47
	平成27年度採用者数(名)	2	1			0		3
	平成28年度受験者数(名)	9	21			4		34

(神戸市) (再掲: (4) 国際貢献活動経験による免除)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	平成27年3月31日までの期間に、法人格を有する同一の民間企業又は官公庁等において、正規従業員、正規職員として継続して3年以上(休職、育児休業等により勤務実態のない期間を除く。)の勤務経験又は青年海外協力隊等として2年以上の派遣経験を有する者。							
資格要件の確認方法	在職証明書等の提出							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	36	57	3	7	13	1	117
	平成26年度採用者数(名)	2	0	0	0	0	0	2
	平成27年度受験者数(名)	42	49	5	7	9	6	118
	平成27年度採用者数(名)	2	2	0	2	0	0	6
	平成28年度受験者数(名)	32	46	4	2	15	2	101

(熊本市)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	法人格を有する同一の民間企業又は同一の官公庁等の常勤の社員・職員として、平成17年4月1日～平成27年4月30日までに、継続して5年以上の勤務経験(休職及び育児休業等の期間を除く。)がある者。							
資格要件の確認方法	出願時は、願書により確認。合格後は、在職証明書を提出させて確認。							
免除される試験科目	第一次試験の試験内容のうち、「教職科目」の筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	27	21	2		4		54
	平成26年度採用者数(名)	6	3	0		0		9
	平成27年度受験者数(名)	28	25	4		1		58
	平成27年度採用者数(名)	2	3	1		1		7
	平成28年度受験者数(名)	54	42	4		2	3	105

(6)教職経験による免除

(北海道・札幌市)

対象となる校種・教科	高等学校の一般選考と同じ教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	昭和41年4月2日以降に生まれた現職の高等学校教諭で、国立大学法人の設置する高等学校又は公立高等学校(北海道及び北海道内の市町村が設置する高等学校を除く。)若しくは私立高等学校における正規教員としての教職経験が、平成28年3月31日現在において引き続き4年以上となるもの							
資格要件の確認方法	現在勤務校の職歴証明書を出願時に提出							
免除される試験科目	一般選考の第1次検査に実施する教養検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			18				18
	平成26年度採用者数(名)			5				5
	平成27年度受験者数(名)			12				12
	平成27年度採用者数(名)			6				6
	平成28年度受験者数(名)			15				15

(青森県1)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、現に本県公立学校の教諭及び養護教諭である者							
資格要件の確認方法	出願書類への記入、第二次試験における個人面接							
免除される試験科目	一般・教職教養試験、適性検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			3				3
	平成26年度採用者数(名)			0				0
	平成27年度受験者数(名)			2				2
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)	1		1				2

(青森県2)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	1. 現に、他都道府県の国立学校又は公立学校の正規の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭(任期付又は臨時的任用である者を除く)であり、平成28年3月31日現在で3年以上の経験を有する者。 2. 本県の国立学校又は公立学校の臨時的任用の講師(非常勤を除く)又は養護助教諭として、平成22年4月1日から平成27年5月31日までに36月以上の経験を有する者。							
資格要件の確認方法	1.については、願書の記載内容及び出願時に任命権者による職歴証明書を提出させる。 2.については、願書の記載内容及び出願時に臨時講師等勤務歴申告書を提出させる。							
免除される試験科目	一般選考の第一次試験に実施する一般・教職教養試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	215	174	172	102	31		694

(岩手県1)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	現在、本県の公立小・中学校教員として在職している者で、公立高等学校・特別支援学校教員として採用を志願する者、及び本県の公立高等学校・特別支援学校教員として在職している者で、公立小・中学校教員として採用を志願する者							
資格要件の確認方法	履歴等で確認							
免除される試験科目	1次試験の教職専門、論文							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	0	0	1			1
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0			0
	平成27年度受験者数(名)	0	0	0	0			0
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0			0
	平成28年度受験者数(名)	0	0	0	2			2

(岩手県2)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	39	歳以下				
資格要件	他都道府県の国公立学校の正規教員として平成27年3月31日現在で3年以上の経験を有し、現に引き続き任用されている者で、出願する校種及び教科の教育職員免許に規定する普通免許状を有している者。							
資格要件の確認方法	出願書類等で確認							
免除される試験科目	1次試験の教職専門、論文。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	40	17	0	0	0		57
	平成26年度採用者数(名)	9	3	0	0	0		12
	平成27年度受験者数(名)	29	13	2	0	1		45
	平成27年度採用者数(名)	7	1	0	0	1		9
	平成28年度受験者数(名)	35	17	4	2	3		61

(岩手県3)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	岩手県内の公立学校又は同県内の国立大学法人附属学校において、平成24年4月1日から平成27年5月20日までに、常勤講師、非常勤講師、養護助教諭、非常勤養護助教諭又は実習助手としての経験が通算で12か月以上(1日でも勤務した月は1か月と見なす。)ある者で、特別選考を希望する者。							
資格要件の確認方法	出願書類等で確認							
免除される試験科目	1次試験の教職専門							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	228	206	205	61	23		723

(宮城県・仙台市1)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に、学校教育法第1条に定められた学校の校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭のいずれかとして勤務している(休業等の者は除く)者。又は、出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校において、実習助手、寄宿舎指導員のいずれかとして勤務している(休業等の者は除く)者。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する勤務証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	12	5	17		1		35
	平成26年度採用者数(名)	1	0	3		0		4
	平成27年度受験者数(名)	11	12	11		2		36
	平成27年度採用者数(名)	4	2	2		1		9
	平成28年度受験者数(名)	10	6	6		2		24

(宮城県・仙台市2)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願時に宮城県内・仙台市内の国公立学校において、講師等の職(常勤講師、非常勤講師、代替養護教諭、代替栄養教諭、代替実習助手、代替寄宿舎指導員)として勤務しており、下記の1.、2.のいずれかに該当する者。 1. 平成24年4月1日から平成27年5月19日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での常勤講師、代替養護教諭、代替栄養教諭、又は非常勤講師(1週当たりの勤務時間が29時間以上)としての経験が通算12月以上ある者。 2. 平成24年4月1日から平成27年5月19日までに、宮城県内・仙台市内の国公立学校での非常勤講師で、年度を通して任用(長期休業期間を除いた1年間)があり、1週当たりの授業時間が単位時間当たり(45分)の授業で10コマ以上(1週当たり450分以上)の非常勤講師として経験がある者。なお、複数校で同時に年度を通して任用がある非常勤講師で、各々の勤務校での授業時間を合算して1週当たり450分以上となる者も含む。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する勤務証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の筆記試験2において「教職教養」を「小論文」に替えることができる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	79	70	39		9		197
	平成26年度採用者数(名)	19	11	8		0		38
	平成27年度受験者数(名)	61	77	30		10		178
	平成27年度採用者数(名)	5	10	3		1		19
	平成28年度受験者数(名)	56	79	24		10		169

※ 常勤講師の中には、宮城県内の市町村が小学校・中学校で臨時的任用をしている教育職員(採用条件として教員免許の所有を定め、勤務時間が1週当たり38時間45分以上の者)を含む。また、非常勤講師については、採用条件として教員免許の所有を定めているものとする。

<教職経験による免除>

(秋田県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	現在、秋田県外で教諭又は養護教諭の身分を有し、継続して3年以上の教諭経験をもち(ただし、各休暇・休業等の期間は除く)、受験手続の際に職歴証明書を提出した者							
資格要件の確認方法	志願書及び他都道府県任命権者発行の職歴証明書の提出による。							
免除される試験科目	総合教養(教職教養、時事問題)							
免除された試験に代わり課される試験	小論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	20	17	2	4			43
	平成27年度採用者数(名)	3	1	0	2			6
	平成28年度受験者数(名)	19	17	7	6			49

(茨城県1)

対象となる校種・教科	一般選考で採用する全校種・職種・教科・科目	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たした者で、本県以外の都道府県又は指定都市が実施する教員採用試験に合格し、現在、正規任用の教諭・養護教諭・栄養教諭として勤務し、志願時に3年以上(休職・育児休業等の期間を除く)在職している方。							
資格要件の確認方法	勤務実績証明(様式あり)及び自己推薦書(様式あり)を提出する。							
免除される試験科目	第1次試験の全てを免除する。							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	24	5	7	3	2	0	41
	平成26年度採用者数(名)	18	5	5	2	2	0	32
	平成27年度受験者数(名)	38	2	5	3	0	1	49
	平成27年度採用者数(名)	35	2	4	3	0	0	44
	平成28年度受験者数(名)	15	8	9	2	1	0	35

(茨城県2)

対象となる校種・教科	一般選考で採用する全校種・職種・教科・科目	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たし、過去に本県又は他の都道府県公立学校の正規任用の教諭・養護教諭・栄養教諭として3年以上(休職・育児休業等の期間を除く)の勤務経験がある方。出願できる校種・教科等は勤務実績のある校種・教育課程内の担当実績のある教科等に限る。							
資格要件の確認方法	勤務実績証明書(様式あり)及び自己推薦書(様式あり)を提出する。							
免除される試験科目	第1次試験のうち一般教養・教職専門の試験を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	2	0	0			3
	平成26年度採用者数(名)	1	2	0	0			3
	平成27年度受験者数(名)	2	3	0	1			6
	平成27年度採用者数(名)	1	2	0	1			4
	平成28年度受験者数(名)	6	2	1	1			10

(千葉県・千葉市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	<p>1. 他県等現職特例: 次の1)、2)の両方を満たす者 1) 他県等において、現に国公立学校(幼稚園を除く。以下において同じ。)の教諭又は養護教諭として平成27年4月1日現在で、2年以上の実務経験を有する者(任期付以外の正規採用の者に限る)。 2) 現に勤務する学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)へ志願する者 2. 元教諭特例: 次の1)~3)の全てに該当する者 1) 平成18年4月1日以降に退職した者 2) 本県又は他の都道府県(政令指定都市を含む)の国公立学校で教諭・養護教諭として過去に5年以上の実務経験(任期付き以外の正規採用に限る)を有する者 3) 勤務経験のある学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)に志願する者 3. 本県現職実習助手等特例: 本県において、現に公立学校の正規の実習助手又は寄宿舎指導員として、平成28年3月31日現在で、3年以上の実務経験を有する者 4. 特別臨時的任用講師特例: 平成26年度又は平成27年度千葉県・千葉市教員採用選考における特別臨時的任用講師名簿登載者で次の1)、2)の両方を満たす者 1) 平成27年5月1日現在、当該学校種・教科で臨時的任用講師として任用されている者 2) 当該学校種・教科(養護教諭は養護教諭の選考)へ志願する者 5. 講師等特例A: 次の1)、2)の両方を満たす者 1) 本県の公立学校において、千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので、千葉県教育委員会が指定するものを含む。)として、平成26年度勤務実績が週12時間以上である者又は平成27年5月1日現在、週12時間以上勤務している者 2) 次の(ア)又は(イ)のどちらかに該当する者 (ア) 過去3年度(平成24年度から平成26年度)に本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭として、通算12か月以上の実務経験があること。 (イ) 過去3年度(平成24年度から平成26年度)に次のa~eを合算して通算18か月以上の実務経験があること。 a 本県の公立学校における臨時的任用の講師又は養護教諭の実務経験 b 千葉県教育委員会又は千葉市教育委員会が任命する週12時間以上の非常勤の講師又は養護教諭の実務経験 c 千葉県教育委員会又は千葉市教育委員会が任命する育短任期付職員(講師又は養護教諭に限る。)の実務経験 d 千葉県内の市町村教育委員会が任命する非常勤講師・養護教諭で、千葉県教育委員会が指定するものの実務経験(特例の対象に該当するか否かは、当該市町村教育委員会に照会すること。) e 千葉県内の国立大学法人附属学校の臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭の実務経験 6. 講師等特例B: 講師等特例Aに該当せず、次の1)、2)の両方を満たす者 1) 平成27年度(26年度実施)の公立学校教員採用候補者選考(千葉県教育委員会・千葉市教育委員会)で第1次選考を合格し、第2次選考を受験した者。 2) 平成27年5月1日現在、本県の公立学校において、千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので、千葉県教育委員会が指定するものを含む)として、週12時間以上勤務している者。 ※平成27年度(26年度実施)選考を大学推薦特例で受験した者を除く</p>							
資格要件の確認方法	教職経験調書及び職歴証明又は辞令の写し等で確認する。							
免除される試験科目	1・2は教職教養と専門教科、3・5・6は教職教養、4は1次選考を免除(2次も個別面接のみ)。							
免除された試験に代わり課される試験	1・2は小論文。3・4・5・6はなし。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	523	875		135	84		1,617
	平成26年度採用者数(名)	223	127	80	63	19		512
	平成27年度受験者数(名)	549	913	0	153	93		1,708
	平成27年度採用者数(名)	231	160	73	69	20		553
	平成28年度受験者数(名)	651	916	0	170	110		1,847

(東京都)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる			満	59	歳以下		
資格要件	1. 他県国公立現職(受験校種・教科経験3年以上)、都経験者(受験校種・教科経験3年以上)、都期限付任用者 2. 都臨任経験者(受験校種・教科で過去3年に12か月以上)、都準常勤講師(受験校種・教科で前年度認定及び現年度認定又は臨任任用中)、他県国公立臨任(受験校種・教科で過去3年に12か月以上及び現年度も任用中)							
資格要件の確認方法	東京都以外の国公立学校に在職する者については、所定の様式を提出させる。都公立学校における勤務実績は、人事電算等により確認する。							
免除される試験科目	1. 別途個人面接のみ実施、2. 第一次選考・択一免除							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							2,915
	平成26年度採用者数(名)							977
	平成27年度受験者数(名)							3,321
	平成27年度採用者数(名)							1,192
	平成28年度受験者数(名)							0

(新潟県)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ			満	59	歳以下		
資格要件	新潟県及び新潟市にある国公立学校の教員を除く(国公立学校の正規教員(教諭・養護教諭・栄養教諭・任用期限を付さない常勤講師)として現に勤務し、平成27年3月31日までに出願種別・教科と同一職種等で、3年以上(休職や育児休業等の期間を除く)の勤務経験がある者。							
資格要件の確認方法	願書のほか、現職教員第1次検査免除希望調書及び在職証明書の提出により確認							
免除される試験科目	第1次検査の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	11	7	11				29
	平成26年度採用者数(名)	5	4	6				15
	平成27年度受験者数(名)	16	10	6	2			34
	平成27年度採用者数(名)	9	6	4	1			20
	平成28年度受験者数(名)	15	10	5	3	1		34

(福井県)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たす者で、現在、他の都道府県の国公立学校に勤務している教諭、養護教諭、栄養教諭							
資格要件の確認方法	辞令の写し							
免除される試験科目	第1次選考試験の一部(一般教養、教職専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	54(7)	38(19)	5(2)	10(3)	2	0	78
	平成26年度採用者数(名)	5	1	1	1	2	0	10
	平成27年度受験者数(名)	47(2)	31(14)	5(3)	4(1)	2	0	69
	平成27年度採用者数(名)	16	2	0	0	1	0	19
	平成28年度受験者数(名)	32(2)	15(1)	2(2)	4(1)	2	0	49

※()内の数字は第2希望で内数であり、合計は実人数である。中高一括募集の教科は中学校に含めて計算している。

(長野県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	学校、幼稚園で次の経験が平成28年3月31日現在で3年以上ある者(講師・養護助教諭は、常勤・非常勤を問わない。)教諭受験者は、教諭又は講師の経験。養護教諭受験者は、養護教諭又は養護助教諭の経験。栄養教諭受験者は、栄養教諭の経験。							
資格要件の確認方法	履歴書(小、中、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭)又は申込書の履歴欄(高等学校)の記入による							
免除される試験科目	一次選考の筆記試験のうち、一般教養(教職に関するものを含む)							
免除された試験に代わり課される試験	二次選考で面接を2回行う(小、中、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	340	311	253	56	52		1,012
	平成26年度採用者数(名)	47	53	47	15	6		168
	平成27年度受験者数(名)	350	309	257	64	52		1,032
	平成27年度採用者数(名)	59	38	47	28	11		183
	平成28年度受験者数(名)	318	299	234	62	42		955

(岐阜県1)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	・過去に岐阜県内の国立大学法人が設置する学校又は公立学校に勤務していた教諭、養護教諭、栄養教諭で、3年以上(休職、育児休業等の期間は除く)の経験(ただし、受験する種別・教科(科目)と同じ種別・教科(科目)に限る)を有する者。 ・他の都道府県の国立大学法人が設置する学校又は公立学校に勤務している教諭、養護教諭、栄養教諭で、平成28年3月31日現在で3年以上(休職、育児休業等の期間は除く)の経験を有する者。							
資格要件の確認方法	出願時に該当となる職歴を証明する書類(任命権者による証明がなされたもの)を提出							
免除される試験科目	小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、栄養教諭・・・第1次選考試験の筆記試験 高等学校教諭、特別支援学校教諭・・・第1次選考試験の筆記試験における教職教養分野の問題							
免除された試験に代わり課される試験	小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、栄養教諭・・・論文試験 高等学校教諭、特別支援学校教諭・・・なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	14	5	4	1	1		25
	平成26年度採用者数(名)	9	4	2	0	0		15
	平成27年度受験者数(名)	28	14	5	3	5		55
	平成27年度採用者数(名)	12	8	2	0	2		24
	平成28年度受験者数(名)	17	10	6	3	6		42

(岐阜県2)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、 高等学校教諭、特別支援学校教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	岐阜県内の公立学校で任期付採用職員又は特任講師として勤務し、学校長や市町村教育委員会からの推薦があった者。							
資格要件の確認方法	出願時に学校長又は市町村教育委員会より推薦書を提出							
免除される試験科目	第1次選考試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	68	30	2	7			107
	平成26年度採用者数(名)	53	25	1	4			83
	平成27年度受験者数(名)	53	26	0	3			82
	平成27年度採用者数(名)	37	15	0	3			55
	平成28年度受験者数(名)	49	17	9	3			78

(岐阜県3)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、 高等学校教諭、特別支援学校教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成26年度に1年間、岐阜県内の公立学校で常勤講師として勤務し、更に平成27年4月より岐阜県内の公立学校で常勤講師として勤務している者で、学校長や市町村教育委員会からの推薦があった者。							
資格要件の確認方法	出願時に学校長又は市町村教育委員会より推薦書を提出							
免除される試験科目	小学校教諭、中学校教諭・・・第1次選考試験の筆記試験 高等学校教諭、特別支援学校教諭・・・第1次選考試験の筆記試験における教職教養分野の問題							
免除された試験に代わり課される試験	小学校教諭、中学校教諭・・・論文試験 高等学校教諭、特別支援学校教諭・・・なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	141	66	120	124			451
	平成26年度採用者数(名)	52	28	18	29			127
	平成27年度受験者数(名)	167	78	122	117			484
	平成27年度採用者数(名)	45	28	20	16			109
	平成28年度受験者数(名)	178	94	127	136			535

(静岡県)

対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	ア 静岡県内外の国公立学校において、教諭又は養護教諭として、平成27年3月31日まで連続して3年以上の実務経験をもつ者(在職中の者も含む) イ 静岡県内の国公立学校において、臨時的任用講師又は臨時的任用養護教諭として、平成26年度に勤務実績を有し、かつ、直近の過去5年度(平成22年度から平成26年度)で通算36か月以上勤務した者							
資格要件の確認方法	教職経験者を対象とした選考申請書(勤務歴証明)							
免除される試験科目	教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	110	32	114	127	22		405
	平成27年度採用者数(名)	28	11	19	36	5		99
	平成28年度受験者数(名)	109	45	93	116	19		382

(滋賀県1)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成28年3月31日現在において、滋賀県外の公立学校又は国立大学法人附属学校の教諭、養護教諭、栄養教諭又は任用の期限を付さない常勤講師(日本国籍を有しない者に限る。)である者で、休職及び育児休業の期間を除き、3年以上の勤務経験を有することとなるものにあつては、希望により第一次選考の一部を免除する。ただし、免除できるのは、受験する校種・職種、教科と同一の教職経験を有する場合に限る。							
資格要件の確認方法	第1次選考後に在職証明書等を提出							
免除される試験科目	小・中・養教・栄教：一般教養・教職教養、専門教科・科目 高・特支：一般教養・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	26	13	4	1	0	0	44
	平成26年度採用者数(名)	17	7	3	1	0	0	28
	平成27年度受験者数(名)	21	13	5	6	3	0	48
	平成27年度採用者数(名)	13	5	4	5	0	0	27
	平成28年度受験者数(名)	19	16	4	6	1	0	46

(滋賀県2)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	過去に公立学校又は国立大学法人附属学校の教諭又は任用の期限を付さない常勤講師(日本国籍を有しない者に限る。)であった者で、休職及び育児休業の期間を除き、3年以上の勤務経験を有する者にあつては、採用時と同一の校種、教科・科目に出願する場合、希望により第一次選考の一部を免除する。ただし、免除できるのは、受験する校種、教科と同一の教職経験を有する場合に限る。							
資格要件の確認方法	第1次選考後に在職証明書等を提出							
免除される試験科目	小・中・高・特支：一般教養・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	4	4	2	4			14

(京都府1)

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	他の都道府県及び指定都市の公立学校、国立大学法人が所管する学校並びに府内の私立高等学校の正規の現職教員の者で、昭和41年4月2日以降に生まれた者。ただし、現職と同一の校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願時の提出書類で確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	22	15	23	3	4	0	67
	平成26年度採用者数(名)	10	2	2	1	0	0	15
	平成27年度受験者数(名)	18	8	21	6	4	0	57
	平成27年度採用者数(名)	9	2	4	4	1	0	20
	平成28年度受験者数(名)	23	8	18	9	3	1	62

(京都府2)

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	全国の都道府県及び指定都市の公立又は国立大学法人が所管する学校の常勤講師又は週10時間以上の非常勤講師として、並びに元正規職員として平成22年度から平成26年度の間に通算2年以上(実勤務月数として通算24か月以上)勤務した経験がある方。ただし、講師及び教員経験と同一校種等を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書類として「勤務証明書」を提出させて確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	47	54	67	24	8	2	202
	平成26年度採用者数(名)	8	9	4	3	0	1	25
	平成27年度受験者数(名)	32	35	64	28	7	1	167
	平成27年度採用者数(名)	1	2	6	7	0	0	16
	平成28年度受験者数(名)	37	46	67	20	7	0	177

(京都府3)

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	京都府内公立学校(京都市立学校を除く。)の常勤講師として、平成22年度から平成26年度の間に通算2年以上(実勤務月数として通算24か月以上)勤務をした経験がある方 ※講師経験と同一の校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書類として「勤務証明書」を提出させて確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)のうち一般教養と専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	44	52	45	17	9	1	168
	平成26年度採用者数(名)	20	23	20	6	1	0	70
	平成27年度受験者数(名)	75	54	46	29	24	5	233
	平成27年度採用者数(名)	25	18	12	14	6	1	76
	平成28年度受験者数(名)	81	72	49	24	20	7	253

(兵庫県1)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	公立学校及び国立大学法人附属学校の現職の教諭、養護教諭又は栄養教諭で、平成28年3月31日現在、受験校種・教科と同じ校種・教科を2年以上教えている現職教員(臨時的任用者は除く。)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次試験のうち、教科専門試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	75	27	13	8	9	1	133
	平成26年度採用者数(名)	46	17	5	3	5	1	77
	平成27年度受験者数(名)	56	28	21	4	4	2	115
	平成27年度採用者数(名)	28	13	12	1	3	2	59
	平成28年度受験者数(名)	76	21	20	6	3	1	127

(兵庫県2)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	過去に本県内公立学校(神戸市立学校を除く)の正規教諭又は養護教諭として、休職・育児休業期間等、勤務実態のない期間を除き2年以上の勤務経験を有し、平成22年4月1日から平成27年3月31日の間に本県内公立学校(神戸市立学校を除く)において、常勤の臨時講師等の3年以上の勤務経験を有する者							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成26年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度受験者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成27年度採用者数(名)	0	0	0	0	0	0	0
	平成28年度受験者数(名)	0	1	0	1	2	0	4

(和歌山県)

対象となる校種・教科	小学校、特別支援学校	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	小学校又は特別支援学校の志願者で、和歌山県内の公立学校において、平成21年4月1日から平成27年3月31日までの6年間に通算48か月以上の講師経験があり、受験校種での講師経験が24か月以上ある人。							
資格要件の確認方法	48か月以上の講師経験を証明できる辞令等の写し							
免除される試験科目	第一次検査の一般教養と校種・教科専門							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	84			24			108
	平成26年度採用者数(名)	23			5			28
	平成27年度受験者数(名)	68			27			95
	平成27年度採用者数(名)	18			11			29
	平成28年度受験者数(名)	64			27			91

(島根県1)

対象となる校種・教科	小学校・中学校・特別支援学校	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たしている者であり、かつ島根県外の国公立の小・中・高等・特別支援学校等の教諭(正式採用)として勤務しているもの。							
資格要件の確認方法	・出願時の願書の職歴欄 ・在職証明書							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	11	8					19
	平成26年度採用者数(名)	5	4					9
	平成27年度受験者数(名)	11	6					17
	平成27年度採用者数(名)	3	2					5
	平成28年度受験者数(名)	34	13		4			51

(島根県2)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校(農業(土木・食品)、工業(電気・機械・建築)、水産(漁業・機関・製造))、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	54	歳以下				
資格要件	一般選考の受験資格を満たしている者であり、かつ現に国公立の小・中・高等・特別支援学校等の教諭及び講師(非常勤を除く。)として5年以上勤務している者。年齢要件は40歳以上54歳以下。							
資格要件の確認方法	・出願時の願書の職歴欄 ・在職証明書							
免除される試験科目	第1次試験の一部(一般・教職教養及び面接)							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	19	24	2	10	5	1	61
	平成26年度採用者数(名)	5	1	1	0	1	1	9
	平成27年度受験者数(名)	22	24	2	3	3		54
	平成27年度採用者数(名)	3	2	2	0	1		8
	平成28年度受験者数(名)	21	17	1	5	5		49

(山口県1)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科等	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	現に(出願時点で)他の都道府県において国公立学校(国公立の小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)に在職している教員(任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。)が、出願時の勤務と同一志願区分(校種等)で出願した場合							
資格要件の確認方法	内定者(採用前)に提出させる履歴証明書により確認							
免除される試験科目	教職専門試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	8	4	2		1		15
	平成26年度採用者数(名)	4	0	2		1		7
	平成27年度受験者数(名)	8	2		3			13
	平成27年度採用者数(名)	1	0		0			1
	平成28年度受験者数(名)	6	2	1	3			12

(山口県2)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科等	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	次に掲げる者のうち、過去3年間(平成24年4月1日から平成27年3月31日まで)において通算24か月以上の在職期間を有するものは、教職専門を免除する。 ア 山口県内の公立学校(小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)において山口県教育委員会が任用する臨時的任用教員(教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭)又は非常勤講師(非常勤養護教諭を含む。) イ 下関市教育委員会が任用する、下関商業高等学校(全日制)の臨時的任用教員又は非常勤講師 ウ 山口大学教育学部附属学校(小学校、中学校及び特別支援学校)の、任期付教諭、非常勤講師又は非常勤教諭(任期付教諭は臨時的任用教員とみなし、非常勤教諭は非常勤講師とみなす。) ただし、非常勤講師としての在職期間は、その在職期間に1/2を乗じ、小数点以下を切り捨てて算出する。臨時的任用教員と非常勤講師の両方の勤務経験を有するものの月数は、臨時的任用教員の在職月数と非常勤講師の換算在職月数の合計とする。 なお、在職月数の算定に当たっては、月に1日でも在職していれば1か月とする。また、同一月に複数の任用がある場合は、いずれか1校のみを対象とする。							
資格要件の確認方法	出願時に提出する教職専門免除申請書と人事異動通知書の写し							
免除される試験科目	教職専門試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	68	113	76	28	24		309
	平成26年度採用者数(名)	26	20	9	6	6		67
	平成27年度受験者数(名)	52	77	77	23	18		247
	平成27年度採用者数(名)	23	17	6	6	4		56
	平成28年度受験者数(名)	59	91	75	21	16		262

(山口県3)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科等	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	現に(出願時点で)他の都道府県において国公立学校(国公立の小・中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校)に在職している教員(任期を定めて任用される者及び非常勤の者を除く。)で、平成27年3月31日現在、継続して3年以上の勤務経験(受験する志願区分(校種等)の教科(科目は問わない。)と同一の勤務経験に限る。また、退職、育児休業等、勤務実態のない期間を除く。)を有するものが、同一志願区分(校種等)の教科(科目は問わない。)で出願した場合							
資格要件の確認方法	出願時に提出する教職専門免除申請書と人事異動通知書の写し							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	30	10	12	5	2		59
	平成26年度採用者数(名)	16	5	1	2	1		25
	平成27年度受験者数(名)	17	19	6	2	0		44
	平成27年度採用者数(名)	8	10	2	1	0		21
	平成28年度受験者数(名)	22	21	9	2	2		56

(高知県1)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	受験資格を満たした、平成27年4月1日現在、他都道府県の国・公立学校の現職教員。平成27年3月31日までに通算2年以上勤務経験を有する人(受験する校種、職種、教科(科目)と同一の教職経験であること。育児休業・退職等の期間は除く)							
資格要件の確認方法	本人の願書及び職歴により確認し、採用候補者名簿に登載された際に、職務経験を証明する書類の提出により確認する。							
免除される試験科目	1次審査の教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	7	4	2	3			16
	平成26年度採用者数(名)	3	2	0	2			7
	平成27年度受験者数(名)	4	4	2	2			12
	平成27年度採用者数(名)	1	1	1	2			5
	平成28年度受験者数(名)	7	2	2	2	1		14

(高知県2)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	受験資格を満たした、本県及び他都道府県の国・公立学校における正規の教員経験者。平成27年3月31日までに通算3年以上勤務経験を有する人(受験する校種、職種、教科(科目)と同一の教職経験であること。育児休業・休職等の期間は除く)							
資格要件の確認方法	本人の願書及び職歴により確認し、採用候補者名簿に記載された際に、職務経験を証明する書類の提出により確認する。							
免除される試験科目	1次審査の教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		1	1				2
	平成26年度採用者数(名)		1	0				1
	平成27年度受験者数(名)	2						2
	平成27年度採用者数(名)	1						1
	平成28年度受験者数(名)	1	1	1				3

(高知県3)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	受験資格を満たした、平成23年4月1日から平成27年5月12日までの期間に、本県の国・公立学校臨時教員として通算24か月以上の勤務経験を有する人。							
資格要件の確認方法	辞令の写しの提出を求める場合がある。							
免除される試験科目	1次審査の教職・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	29	82	114	40	17	3	285
	平成27年度採用者数(名)	13	17	10	14	2	1	57
	平成28年度受験者数(名)	21	64	98	46	9	0	238

(福岡県)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	50	歳以下				
資格要件	1. 現職者の特例: 現に小学校、中学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の正規教員として勤務している者で、所定の証明書を提出する者。 2. 講師等経験者の特例: 福岡県内の公立学校(北九州市立、福岡市立及び国立の小・中・特別支援学校を除く。)の常勤講師、非常勤講師、助教諭、養護助教諭として、平成17年4月1日から平成27年6月12日までの期間に、24か月以上の経験がある者で、所定の申請書を提出する者。							
資格要件の確認方法	1. 現職者の特例: 出願時に在職等証明書を提出させる。 2. 講師等経験者の特例: 出願時に講師等経験者の特例申請書、辞令等の写しを提出させる。							
免除される試験科目	第一次試験の教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	361	337	403	91	63	1	1,256
	平成26年度採用者数(名)	97	70	79	19	6	0	271
	平成27年度受験者数(名)	426	464	483	120	79	1	1,573
	平成27年度採用者数(名)	134	87	81	22	6	0	330
	平成28年度受験者数(名)	410	409	460	141	90	1	1,511

(佐賀県1)

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	現に都道府県、指定都市の公立学校で正規の教諭、養護教諭又は栄養教諭の職にある者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者							
資格要件の確認方法	所属長の在職証明及び本人が申告した職歴を事務局で照合し、確認を行う							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	17	5	5	0	0	1	28
	平成26年度採用者数(名)	4	2	2	0	0	1	9
	平成27年度受験者数(名)	19	5	11	0	0	0	35
	平成27年度採用者数(名)	4	2	0	0	0	0	6
	平成28年度受験者数(名)	6	5	5	0	0	0	16

(佐賀県2)

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	下記の要件を満たす者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者 ・平成27年4月1日から6月9日までの期間に、本県の学校に教職員として臨時的に任用された実績のある者で、過去5年間(H22～26年度)において、本県の学校で教職員として通算24か月以上の勤務経験を有する者							
資格要件の確認方法	所属長の在職証明及び本人が申告した職歴を事務局で照合し、確認を行う							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	58	97	93	13	17	1	279
	平成26年度採用者数(名)	8	12	10	2	2	0	34
	平成27年度受験者数(名)	70	103	93	15	19	0	300
	平成27年度採用者数(名)	16	23	10	1	4	0	54
	平成28年度受験者数(名)	72	101	83	16	14	2	288

(長崎県1)

対象となる校種・教科	募集する全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	平成27年度において、本県区立小・中・高等学校・特別支援学校に教職員として臨時的に任用されている者(非常勤講師を含む)で、過去5年間(平成22年～平成26年度)において、3年以上臨時的任用等教職員を経験し、優秀と認められる者(各年度の任用期間は、長短にかかわらず1年と算出する)。							
資格要件の確認方法	免除申請書を出願時点で勤務する学校の校長に提出							
免除される試験科目	第1次試験の「教職・一般教養試験」							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	107	77	34	14	10		242
	平成26年度採用者数(名)	23	14	9	6	6		58
	平成27年度受験者数(名)	114	85	30	14	13		256
	平成27年度採用者数(名)	39	23	8	6	4		80
	平成28年度受験者数(名)	94	79	28	12	15		228

(長崎県2)

対象となる校種・教科	募集する全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		有				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	平成27年度において、国公立学校本務教員で、受験する校種、教科・科目と同一の本務教員経験を3年以上有している者。							
資格要件の確認方法	免除申請書を提出第2次試験の合格者には、職歴確認のため在職証明書の提出を求める。							
免除される試験科目	第1次試験の「教職・一般教養試験」							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	16	8	4	2	2		32
	平成26年度採用者数(名)	3	3	2	0	0		8
	平成27年度受験者数(名)	26	6	5	2	1		40
	平成27年度採用者数(名)	2	2	2	1	1		8
	平成28年度受験者数(名)	19	10	2	1	1		33

(熊本県1)

対象となる校種・教科	募集している全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	平成27年5月1日現在で、熊本県公立学校(熊本市立の学校を除く)の臨時的任用教員として受考する校種及び職種で任用されている者で、過去5年間に、本県公立学校における臨時的任用等の経験が通算36か月以上あり、校長等の推薦を受け、県教育委員会で選考された者。							
資格要件の確認方法	提出記録及び人事記録							
免除される試験科目	第一次考査(教職科目・専門教科等)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	22	15	22	22	9	0	90
	平成26年度採用者数(名)	15	11	9	11	3	0	49
	平成27年度受験者数(名)	20	15	14	10	11	0	70
	平成27年度採用者数(名)	13	10	5	5	5	0	38
	平成28年度受験者数(名)	19	14	13	18	13	0	77

(熊本県2)

対象となる校種・教科	募集している全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	現に国公立学校における正規教員(熊本県公立学校正規教員を除く。任期を定めて採用された教員を除く。)として、平成28年3月31日までに通算して3年以上の勤務経験となる者。							
資格要件の確認方法	経験実績を証明する書類の提出							
免除される試験科目	第一次審査における、教職科目							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	31	7	7	5	0	0	50
	平成26年度採用者数(名)	9	2	4	0	0	0	15
	平成27年度受験者数(名)	11	6	10	6	2	0	35
	平成27年度採用者数(名)	0	2	6	0	1	0	9
	平成28年度受験者数(名)	12	5	2	1	1	0	21

(大分県)

対象となる校種・教科	小学校 特別支援学校 小学部・中学部 養護教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	45	歳以下				
資格要件	<p>次の2から4.のいずれかの要件を満たす者は、希望により第1次試験を免除する。ただし、特別選考(Ⅱ)及び(Ⅲ)を受験する者は除く。</p> <p>2. 次のア及びイに該当する者</p> <p>ア 小学校教諭に出願する者で、大分県を除く都道府県又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、公立の小学校又は国立大学法人が所管する小学校の正規教員(臨時的任用の者は除く。)としての勤務期間が平成27年6月1日現在5年以上(休職・育児休業の期間を除く。)であるもの</p> <p>イ 現在、公立の小学校若しくは国立大学法人が所管する小学校の正規教員(臨時的任用の者は除く。)又は都道府県教育委員会若しくは市町村教育委員会の職員として勤務している者</p> <p>3. 次のア及びイに該当する者</p> <p>ア 特別支援学校教諭小学部又は中学部に出願する者で、大分県を除く都道府県又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、公立の特別支援学校又は国立大学法人が所管する特別支援学校の正規教員(臨時的任用の者は除く。)としての勤務期間が平成27年6月1日現在5年以上(休職・育児休業の期間を除く。)であるもの</p> <p>イ 現在、公立の特別支援学校若しくは国立大学法人が所管する特別支援学校の正規教員(臨時的任用の者は除く。)又は都道府県教育委員会若しくは市町村教育委員会の職員として勤務している者</p> <p>4. 次のア及びイに該当する者</p> <p>ア 養護教諭に出願する者で、大分県を除く都道府県又は政令指定都市が実施する教員採用選考試験に合格し、公立の学校又は国立大学法人が所管する学校の正規教員(臨時的任用の者は除く。)としての勤務期間が平成27年6月1日現在5年以上(休職・育児休業の期間を除く。)であるもの</p> <p>イ 現在、公立の学校若しくは国立大学法人が所管する学校の正規教員(臨時的任用の者は除く。)又は都道府県教育委員会若しくは市町村教育委員会の職員として勤務している者</p>							
資格要件の確認方法	出願書類として、勤務履歴を証明するものを提出する。(在職期間の確認ができない場合は免除しない。)							
免除される試験科目	第1次試験の全て(教養試験・専門試験)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	17			2			19
	平成26年度採用者数(名)	9			0			9
	平成27年度受験者数(名)	11				1		12
	平成27年度採用者数(名)	2				0		2
	平成28年度受験者数(名)	6			1			7

(宮崎県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	・臨時的任用講師等(出願時の前の年度までの5年間のうち、通算24か月以上、本県において、臨時的任用講師、非常勤講師又は養護助教諭としての勤務経験のある者) ・現職教員(現に公立小・中・高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭として勤務している者) ・元教員(本県の公立小・中・高等学校又は特別支援学校の教諭・養護教諭・栄養教諭としての勤務実績が通算24か月以上ある者)							
資格要件の確認方法	申請書及び雇用証明書等、その資格を証明するものを出願時に提出							
免除される試験科目	第一次選考試験における教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	202	208	178	82	29		699
	平成26年度採用者数(名)	26	22	28	11	5		92
	平成27年度受験者数(名)	204	209	167	82	27		689
	平成27年度採用者数(名)	22	23	25	14	5		89
	平成28年度受験者数(名)	212	201	165	69	26	1	674

(沖縄県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	次のア及びイの両方を満たしていること。 ア 本県の国公立学校(県立、市町村立又は国立大学法人附属の小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校をいう。)における臨時的任用の教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭及び常勤講師並びに非常勤講師(以下「臨任等」という。)としての勤務経験を、平成20年4月から平成27年3月までの間に通算して60か月以上有していること。ただし、非常勤講師の勤務経験は実際の勤務月数の8割として計算する。 イ 平成27年4月以降の臨任等経験として、次の(ア)又は(イ)のいずれかに該当すること。 (ア)平成27年4月から出願までの間に、本県の国公立学校での臨任等としての勤務経験があること。 (イ)平成27年4月から本県の公立学校での臨任等としての勤務を希望し、平成27年3月末日までに学校人事課又はいずれかの教育事務所にその旨の登録を行っていること。							
資格要件の確認方法	対象となる期間の、臨任等として勤務したときの辞令、任用通知書、雇用契約書等のいずれかの写し							
免除される試験科目	第一次試験の一般教養及び教職教養試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	無し(一部試験免除を受けた場合、一般教養及び教職教養試験の得点は、専門教科等の試験の得点率と同様として計算して合否を判定する。)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	229	179	235	46	19		708

(浜松市1)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成26年度に国公立学校で講師としての勤務経験を有し、直近の2年間で通算12か月以上勤務した者、国公立学校の正規教員であって、通算12か月以上の勤務経験をもつ者、静岡県内教育施設の職員として平成26年度に通算10か月以上勤務した者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長・職場の所属長が作成する勤務実績証明書を提出する。							
免除される試験科目	第1次選考の教職教養・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	課題作文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	64	32			15		111
	平成26年度採用者数(名)	20	10			3		33
	平成27年度受験者数(名)	62	42			10		114
	平成27年度採用者数(名)	12	6			0		18
	平成28年度受験者数(名)	68	35			11		114

(浜松市2)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	国公立学校に勤務する現職正規教員であって、平成27年4月1日現在在籍し、3年以上の勤務経験をもつ者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。							
免除される試験科目	第1次選考の教職教養・一般教養、教科専門、実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	8	4			0		12
	平成26年度採用者数(名)	6	1			0		7
	平成27年度受験者数(名)	6	3			0		9
	平成27年度採用者数(名)	5	0			0		5
	平成28年度受験者数(名)	9	4			0		13

(浜松市3)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	国公立小・中学校に勤務する現職正規教員であって、平成27年4月1日現在在籍し、実務経験3年未満の勤務経験をもつ者							
資格要件の確認方法	勤務実績のあった学校の校長が作成する勤務実績証明書を提出する。							
免除される試験科目	第1次選考の教職教養・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	0			0		2
	平成26年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成27年度受験者数(名)	1	0			0		1
	平成27年度採用者数(名)	1	0			0		1
	平成28年度受験者数(名)	3	0			0		3

(名古屋市1)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校、養護教員	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	名古屋市の講師経験が過去5年間に通算2年以上ある人							
資格要件の確認方法	所属長の証明がある申請書							
免除される試験科目	総合教養 ※小学校教員志願者で、名古屋市の講師経験が過去10年間に通算5年以上の人は、更に小学校全科を免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	291	179		12	50		532
	平成26年度採用者数(名)	46	25		3	1		75
	平成27年度受験者数(名)	159	142		11	19		331
	平成27年度採用者数(名)	61	39		3	6		109
	平成28年度受験者数(名)	235	217		18	54		524

(名古屋市2)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、特別支援学校、養護教員	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	名古屋市以外の国公立学校に本務教諭として勤務しており、平成26年度末までに本務教諭の任用期間が通算して2年以上ある人							
資格要件の確認方法	所属長の証明がある申請書							
免除される試験科目	総合教養、専門、実技、小論文							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	40	20		8	8		76
	平成26年度採用者数(名)	24	7		4	6		41
	平成27年度受験者数(名)	37	20		4	10		71
	平成27年度採用者数(名)	13	5		1	3		22
	平成28年度受験者数(名)	34	24		7	9		74

(京都市)

対象となる校種・教科	募集を行う全区分	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	1. 平成28年3月31日時点で、同一の任命権者の国公立学校に連続して2年以上勤務し、かつ在職している者 2. 平成22年4月1日から平成27年3月31日までの期間に国公立学校での常勤講師としての勤務歴が2年以上ある者							
資格要件の確認方法	内定時に在職証明書を提出							
免除される試験科目	1. 1次試験全部免除 2. 1次試験一部免除							
免除された試験に代わり課される試験	1. 2次試験とは別途、個人面接を実施 2. なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	197	159	65	85	24	9	539
	平成26年度採用者数(名)	20	20	2	18	2	0	62
	平成27年度受験者数(名)	217	172	81	89	22	4	585
	平成27年度採用者数(名)	25	19	7	17	3	1	72
	平成28年度受験者数(名)	199	189	67	91	22	7	575

(大阪市1)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	次の(1)又は(2)のいずれかに該当する人。 (1)国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校において、正規任用の教諭、養護教諭又は栄養教諭(以下、「教諭等」という)として出願時点で在職しており、平成22年4月1日から平成27年4月30日までの間に通算2年以上在職経験がある人。ただし、大阪府、大阪市、堺市及び大阪府豊能地区教職員人事協議会が実施した教員採用選考テストに合格し正規任用された「教諭等」として出願時点で在職している人を除く。 (2)大阪市立の学校園において、正規任用の「教諭等」として、平成22年4月1日から平成27年4月30日までの間に通算2年以上の経験がある人。ただし、大阪市立学校園の正規任用の「教諭等」として出願時点で在職している人を除く。							
資格要件の確認方法	在職・勤務証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆答テスト、第2次選考の筆答テスト及び実技テスト							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の面接テストが集団面接から個人面接になる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	24	11	20	2	2	1	60
	平成26年度採用者数(名)	6	2	2	2	0	0	12
	平成27年度受験者数(名)	28	13	22	6	3	0	72
	平成27年度採用者数(名)	10	5	4	3	0	0	22
	平成28年度受験者数(名)	21	13	23	0	6	1	64

(大阪市2)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	大阪市立の学校園において、常勤講師、非常勤講師、非常勤嘱託員として出願時点で在職している人。							
資格要件の確認方法	在職・勤務証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の面接テストが集団面接から個人面接になり、出願時点の在籍校での講師評価が第1次選考の面接テストの点数に反映される。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	446	287	105	115	69		1,022
	平成26年度採用者数(名)	133	50	4	32	2		221
	平成27年度受験者数(名)	432	322	115	125	102		1,096
	平成27年度採用者数(名)	217	36	12	37	30		332
	平成28年度受験者数(名)	333	437	128	0	93		991

(大阪市3)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	次の(1)又は(2)のいずれかに該当する人。 (1)国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校又は特別支援学校において、教諭・常勤講師・非常勤講師・非常勤嘱託員として、平成22年4月1日から平成27年4月30日までの間に通算2年以上在職経験がある人。ただし、大阪市立学校園現職講師特例該当者及び大阪府、大阪市、堺市及び大阪府豊能地区教職員人事協議会が実施した教員採用選考テストに合格し正規任用された「教諭等」として出願時点で在職している人を除く。 (2)平成27年4月1日現在、大阪市立学校における正規職員の実習助手又は寄宿舎指導員として在職している人。							
資格要件の確認方法	在職・勤務証明書							
免除される試験科目	第1次選考の筆答テスト							
免除された試験に代わり課される試験	第1次選考の面接テストが集団面接から個人面接になる。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	77	94	71	48	19	0	309
	平成26年度採用者数(名)	2	6	0	3	0	0	11
	平成27年度受験者数(名)	90	104	78	78	21	1	372
	平成27年度採用者数(名)	21	8	1	13	2	1	46
	平成28年度受験者数(名)	93	128	88	0	35	0	344

(堺市)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	1.「一般選考」の資格要件を満たしていること。 2. 次の(ア)(イ)(ウ)のいずれかの勤務経験があること。 (ア)平成27年4月1日から平成27年6月4日までの間に堺市立学校園において、講師、養護助教諭又は実習助手(期限付任用を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験を含む。)があること(任用期間は問わない)。 (イ)平成25年4月1日から平成27年6月4日までの間に堺市立学校園において、講師、養護助教諭又は実習助手(期限付任用を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験を含む。)があること(任用期間は問わない)。 (ウ)平成25年4月1日から平成27年6月4日までの間に国公立学校において、講師又は養護助教諭(私立学校は教諭としての勤務経験を含む。)としての勤務経験(非常勤としての勤務経験は除く。)が1か月以上ある人で、その勤務経験が平成27年6月4日までに過去の勤務経験と通算して3年以上あること。							
資格要件の確認方法	願書の経歴記入欄に受験資格に該当する勤務経験を記入。 選考試験合格後、在職・勤務証明書等を提出							
免除される試験科目	教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	小論文 ※(ア)については小論文も免除され、講師評価を面接点に反映する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	65	114					179
	平成26年度採用者数(名)	16	14					30
	平成27年度受験者数(名)	65	111			7		183
	平成27年度採用者数(名)	16	23			0		39
	平成28年度受験者数(名)	145	180			21		346

(神戸市1)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	平成28年3月31日現在、1.小学校教諭については、国立大学法人附属小学校及び公立小学校の現職の教諭、2.その他の試験区分については、国立大学法人附属学校園、公立学校園及び私立学校園の現職の教諭で、1.2.共に継続して3年以上(休職、育児休業等により勤務実態のない期間を除く。)の勤務経験を有する者(任用の期限を付さない常勤講師を含む。)。ただし、受験する試験区分及び教科と同一の教職経験に限る(音楽、美術、養護、栄養は校種不問。)							
資格要件の確認方法	在職証明書等の提出							
免除される試験科目	教職・一般教養、専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	44	44	3	11	5	4	111
	平成26年度採用者数(名)	7	9	2	3	0	0	21
	平成27年度受験者数(名)	53	35	2	10	6	2	108
	平成27年度採用者数(名)	15	5	0	0	1	0	21
	平成28年度受験者数(名)	47	38	3	6	7	1	102

(神戸市2)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	次のア又はイのいずれかに該当する者 ア 平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間に、神戸市立学校園において、臨時的任用教員として、通算2年以上の勤務経験を有する者。 イ 過去に1.小学校教諭については、国立大学法人附属小学校及び公立小学校の教諭、2.その他の試験区分については、国立大学法人附属学校園、公立学校園及び私立学校園の教諭で、1.2.共に継続して3年以上(休職、育児休業等により勤務実態のない期間を除く。)の勤務経験を有する者(任用の期限を付さない常勤講師を含む。)で、平成24年4月1日から平成27年3月31日までの3年間に、神戸市立学校園において、臨時的任用教員として、通算1年以上の勤務経験を有する者。ただし、過去の教職経験については、受験する試験区分及び教科と同一の教職経験に限る(音楽、美術、養護、栄養は校種不問)。							
資格要件の確認方法	辞令、委嘱状の写しの提出							
免除される試験科目	教職、専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	96	93	1	14	22	4	230
	平成26年度採用者数(名)	39	39	1	3	5	2	89
	平成27年度受験者数(名)	84	88	2	11	19	4	208
	平成27年度採用者数(名)	35	44	2	5	5	1	92
	平成28年度受験者数(名)	112	116	2	14	19	6	269

(福岡市)

対象となる校種・教科	全校種、全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	1. 国公立幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校又は特別支援学校の正規教員として現に勤務している人 2. 福岡市立学校に常勤講師又は非常勤講師(週16時間以上ある場合に限る)として任用された人のうち、平成22年4月1日から平成27年4月30日までの間に良好に勤務した期間が24か月以上ある人							
資格要件の確認方法	1. 実績証明書(勤務先が記入)の提出 2. 本市発令情報と照合							
免除される試験科目	第1次筆記試験における教職教養試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	113	106	4	40	14	2	279
	平成26年度採用者数(名)	17	20	0	5	5	1	48
	平成27年度受験者数(名)	117	103	12	31	10	0	273
	平成27年度採用者数(名)	45	9	3	12	2	0	71
	平成28年度受験者数(名)	102	99	6	25	15	0	247

(熊本市)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	次の1.及び2.の両方の条件を満たす者。 1. 平成27年5月1日において、熊本市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び総合ビジネス専門学校等の臨時的任用教員として任用されている者。 2. 平成22年4月1日～平成27年4月30日までに、通算36か月以上の熊本市立学校の臨時的任用教員の経験がある者。							
資格要件の確認方法	願書提出時に、人事記録で照合し確認							
免除される試験科目	第一次試験の試験内容のうち、「教職科目」の筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	90	58			4		152
	平成26年度採用者数(名)	11	14			1		26
	平成27年度受験者数(名)	89	62	3		5		159
	平成27年度採用者数(名)	19	7	1		0		27
	平成28年度受験者数(名)	81	68	1		4		154

(7) 前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除

(岩手県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	前年度試験において、B合格となり、今年度県内公立学校において臨時的任用教員として勤務し、前年度と同一校種同一教科を受験した場合							
資格要件の確認方法	履歴等で確認							
免除される試験科目	1次試験の全部(教職専門、論文、教科専門)							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	13	10	4	0	2	0	29
	平成26年度採用者数(名)	11	9	4	0	2	0	26
	平成27年度受験者数(名)	5	3	5	0	1	0	14
	平成27年度採用者数(名)	4	3	5	0	1	0	13
	平成28年度受験者数(名)	0	1	1	2	0	0	4

(宮城県・仙台市)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・養護教諭・栄養教諭	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	採用候補者名簿に登載され、採用されなかった場合は、同一校種・教科(科目)を受験する場に限り、次年度の教員採用候補者選考の第1次選考を免除する。							
資格要件の確認方法	前年度採用候補者登載名簿							
免除される試験科目	同一校種・教科(科目)を受験する場に限り、第1次選考を免除する。							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)							0

＜前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除＞

(千葉県・千葉市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	講師等特例B ・講師等特例Aに該当せず、次の1.、2.の両方を満たす者 1. 平成27年度(26年度実施)の公立学校教員採用候補者選考(千葉県教育委員会・千葉市教育委員会)で第1次選考を合格し、第2次選考を受験した者。 2. 平成27年5月1日現在、本県の公立学校において、千葉県・千葉市が任命する臨時的任用又は非常勤の講師・養護教諭(千葉県内の市町村教育委員会が任命するもので、千葉県教育委員会が指定するものを含む)として、週12時間以上勤務している者。 ※平成27年度(26年度実施)選考を大学推薦特例で受験した者を除く							
資格要件の確認方法	第2次選考結果通知書の写し及び教職経験調書、職歴証明又は辞令の写し等で確認する。							
免除される試験科目	教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	125	112		20	9		266

(東京都)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	平成27年度東京都公立学校教員採用候補者選考名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿により確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考集団面接							
免除された試験に代わり課される試験	個人面接のみ別日程で実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							7
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							11
	平成27年度採用者数(名)							5
	平成28年度受験者数(名)							0

<前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除>

(静岡県)

対象となる校種・教科	全校種・教科科目、養護教員	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成27年度静岡県公立学校教員採用第2次選考試験の結果、平成27年度新規採用教職員候補者となった者。(要受験希望校種免許状所持。前年度と同一校種、同一選考区分で受験する場合に限る。)							
資格要件の確認方法	担当課による確認							
免除される試験科目	第1次選考試験の全て							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	3	1	6	1		13
	平成26年度採用者数(名)	2	3	0	6	1		12
	平成27年度受験者数(名)	1	7	8	7	1		24
	平成27年度採用者数(名)	1	5	4	4	1		15
	平成28年度受験者数(名)	7	5	7	3			22

(鳥取県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	前年度の教員採用候補者選考試験第二次選考試験の結果、A登載(次年度教員として正式に採用)、B登載(次年度講師として1年間臨時的に任用(欠員の状況によっては正式に採用))、C登載(次年度講師として臨時的に任用)として名簿登載しているが、このうち、B・C登載の者が本年度と同じ試験区分、教科(科目等)で出願した場合							
資格要件の確認方法	教育委員会事務局担当課の内部資料による							
免除される試験科目	第一次選考試験(一般教養・教職教養、志願する教科(科目等)の専門試験、教育問題に関する討議、集団面接)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							90
	平成26年度採用者数(名)	22	26	4	14	4		70
	平成27年度受験者数(名)							74
	平成27年度採用者数(名)	22	14	2	13	2		53
	平成28年度受験者数(名)							82

＜前年度の採用候補者名簿登載者であることによる免除＞

(徳島県)

対象となる校種・教科	登載教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	前年度採用候補者名簿に登載された者で、採用されていない者							
資格要件の確認方法	内定通知者名簿							
免除される試験科目	第1次審査〔筆記審査(専門・教養)と実技審査、集団面接審査〕							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		2	2				4
	平成26年度採用者数(名)		2	2				4
	平成27年度受験者数(名)	4		2		2		8
	平成27年度採用者数(名)	4		2		2		8
	平成28年度受験者数(名)		2	1	1	2		6

(浜松市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成27年度浜松市立小・中学校教員採用選考第2次選考試験の結果、平成27年度新規採用教職員候補者(補欠)となった者							
資格要件の確認方法	担当課による確認							
免除される試験科目	第1次選考の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	9	6			1		16
	平成26年度採用者数(名)	6	4			0		10
	平成27年度受験者数(名)	10	7			2		19
	平成27年度採用者数(名)	6	1			0		7
	平成28年度受験者数(名)	5	9			1		15

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(8) 前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除

(北海道・札幌市)

対象となる校種・教科	全学校種別、全教科(科目)	新規・継続					継続		
		特別免許状の活用					無		
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	小・特小・中・特中・養教・栄教39、高・特高49					歳以下	
資格要件	前年度第1次(筆記)検査に合格し、登録とならなかった者で、一定水準の成績を取得した場合、次年度の教員採用候補者選考検査で同一の受験区分、受験教科・科目及び採用希望区分で受験する場合に限り、第1次検査を免除								
資格要件の確認方法	前年度教員採用候補者選考検査の結果通知書の写しを出願時に提出								
免除される試験科目	第1次検査								
免除された試験に代わり課される試験	なし								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	5	15	2	11	1		34	
	平成26年度採用者数(名)	0	2	1	0	1		4	
	平成27年度受験者数(名)	1	3	2		1		7	
	平成27年度採用者数(名)	1	3	1		1		6	
	平成28年度受験者数(名)	4	3	5				12	

(秋田県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭	新規・継続					継続		
		特別免許状の活用					無		
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45					歳以下	
資格要件	平成27年度採用候補者選考における第二次選考試験の不合格者のうち、総合評価が優秀である者								
資格要件の確認方法	受験の手続の際に、平成27年度採用候補者第二次選考試験結果通知の写しを添付する。								
免除される試験科目	第一次選考試験の全て								
免除された試験に代わり課される試験	なし								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計	
	平成26年度受験者数(名)	5	7	5	3	1		21	
	平成26年度採用者数(名)	5	3	4	3	0		15	
	平成27年度受験者数(名)	4	4	2	1			11	
	平成27年度採用者数(名)	4	4	0	1			9	
	平成28年度受験者数(名)	3	7	1	3			14	

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(福島県)

対象となる校種・教科	小学校及び中学校、高等学校、特別支援学校の全教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	45	歳以下				
資格要件	前年度第一次選考試験に合格して、第二次試験を有効に受験し名簿登録にならなかった受験者で、前年度と同一の校種等、教科(科目)を志願する者							
資格要件の確認方法	志願書に前年度の受験番号を記入させ、前年度の志願書等と照合する。							
免除される試験科目	第一次選考試験の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	16	11	29	13	4		73
	平成26年度採用者数(名)	8	8	16	8	4		44
	平成27年度受験者数(名)	43	37	28	19	14		141
	平成27年度採用者数(名)	26	16	11	8	11		72
	平成28年度受験者数(名)	40	27	36	15	9		127

(新潟県)

対象となる校種・教科	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭・特別支援学校教諭・養護教諭・栄養教諭	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	前回の新潟県公立学校教員採用選考検査における第2次検査の結果、「採用候補者名簿」に登録されなかった者のうち、S判定であった者。ただし、前回と同一の出願種別・教科を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	前回S判定者名簿及び願書							
免除される試験科目	第1次検査の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	1	13	12		4	1	31
	平成26年度採用者数(名)	1	7	4		3	1	16
	平成27年度受験者数(名)		6	13		8		27
	平成27年度採用者数(名)		3	9		6		18
	平成28年度受験者数(名)		3	9		2	1	15

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(富山県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	以下の条件1.2.3.のいずれかを満たす者 1. 前年実施の検査の補欠者で名簿登録されなかった者 2. 前年度又は前々年度の第2次検査受検者で、本県での教職経験(臨時的任用講師、養護助教諭、週10時間以上の非常勤の講師若しくは養護助教諭)が通算12か月以上 3. 大学又は大学院在籍中に、前年度の第2次検査受検者で、本県での教職経験(臨時的任用講師、養護助教諭、週10時間以上の非常勤の講師若しくは養護助教諭)が通算1か月以上ただし、1.2.3.に該当する検査と同一受検種目及び同一受検教科(科目)を受検すること。また、受検種目及び受検教科(種目)の教諭普通免許状を該当する検査の当該年度末までに所有していること。							
資格要件の確認方法	第1次検査一部免除調書と人事記録等の写しを提出させている。							
免除される試験科目	第1次検査の教養Ⅰ、専門教科筆答検査、専門教科実技検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	25	43		3	6		77
	平成26年度採用者数(名)	16	22		2	4		44
	平成27年度受験者数(名)	34	46		5	4		89
	平成27年度採用者数(名)	23	19		1	2		45
	平成28年度受験者数(名)	35	46		10	8		99

(岐阜県)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、 高等学校教諭、特別支援学校教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成27年度採用岐阜県公立学校教員採用選考試験において第1次選考試験に合格し、第2次選考試験を受験した者で、平成27年4月より岐阜県内の公立学校で常勤講師として勤務している者							
資格要件の確認方法	出願時に学校長又は市町村教育委員会より推薦書を提出							
免除される試験科目	第1次選考試験における筆記試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	43	39	61	13			156
	平成26年度採用者数(名)	16	14	19	6			55
	平成27年度受験者数(名)	65	42	57	18			182
	平成27年度採用者数(名)	19	17	19	14			69
	平成28年度受験者数(名)	85	49	48	14			196

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(滋賀県)

対象となる校種・教科	小・中・高・特支・養教・栄教	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成27年度(平成26年実施)又は平成26年度(平成25年実施)滋賀県公立学校教員採用選考試験第一次選考に合格し、第二次選考を有効に受験し不合格と判定された者のうち、平成26年9月1日から平成28年度滋賀県公立学校教員採用選考試験出願までの間に、滋賀県教育委員会により任用された臨時講師、滋賀県内の各市町教育委員会又は滋賀県内の国立大学法人により任用された常勤の講師(校種・職種、教科・科目を問わない。)として通算して1月以上の経験を有する者は、平成27年度(平成26年実施)又は平成26年度(平成25年実施)に受験して合格した第一次選考の校種・職種と同一の校種・職種を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	平成27年度(平成26年実施)又は平成26年度(平成25年実施)教員採用選考試験第二次選考不合格通知の写し及び講師としての勤務が確認できる辞令書又は雇用通知書の写し							
免除される試験科目	一般教養・教職教養							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	49	42	10	7	1	0	109
	平成26年度採用者数(名)	28	24	4	2	1	0	59
	平成27年度受験者数(名)	58	59	19	9	5	2	152
	平成27年度採用者数(名)	34	26	11	4	5	0	80
	平成28年度受験者数(名)	60	43	21	8	3	3	138

(京都府)

対象となる校種・教科	全校種・教科(科目)	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成27年度京都府公立学校教員採用選考試験で第1次試験に合格した方。ただし、平成26年度試験において、受験した同一の選考区分、校種等及び教科(科目)を受験する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書類と前年度試験データ(氏名、生年月日、試験合否等)により確認							
免除される試験科目	第1次試験(筆記試験)全て							
免除された試験に代わり課される試験	特になし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	97	44	70	22	4	3	240
	平成26年度採用者数(名)	28	20	25	5	0	2	80
	平成27年度受験者数(名)	78	63	81	16	6	2	246
	平成27年度採用者数(名)	20	14	27	4	2	1	68
	平成28年度受験者数(名)	85	52	48	18	9	6	218

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(大阪府)

対象となる校種・教科	今年度募集する全ての校種・教科・科目	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	出願する選考区分の年齢要件に同じ	満	50	歳以下				
資格要件	前年度採用選考テストにおいて、第1次選考で合格と判定された上で、第2次選考を有効に受験し、不合格とされた者のうち、各選考区分の受験資格を有し、前年度採用選考テストにおいて受験した同一の校種教科(科目)等・選考区分に出願すること。							
資格要件の確認方法	前年度第2次選考結果通知書(原本)裏面に必要事項記入の上、提出							
免除される試験科目	第1次選考(面接、筆答テスト)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	229	217	229	21	25	7	728
	平成26年度採用者数(名)	68	81	162	19	3	1	334
	平成27年度受験者数(名)	340	205	236	47	23	5	856
	平成27年度採用者数(名)	114	50	111	18	7	3	303
	平成28年度受験者数(名)	332	211	272	27	26	5	873

(和歌山県)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	平成26年度又は平成27年度和歌山県公立学校教員採用検査の第二次検査を受験し、不合格と判定された人。							
資格要件の確認方法	受験者からの免除申請書(受験番号と氏名の確認)と、平成26年度、平成27年度検査の成績一覧							
免除される試験科目	第一次検査の一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	93	114	101	27	12		347
	平成26年度採用者数(名)	47	34	27	11	4		123
	平成27年度受験者数(名)	67	104	86	24	13		294
	平成27年度採用者数(名)	32	31	23	5	4		95
	平成28年度受験者数(名)	58	117	88	31	10		304

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(島根県1)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	前年度2次試験の面接・模擬授業等の評定がA。 前年度と同一区分に出願すること。 出願時に国公立の小・中・高等・特別支援学校等に勤務していること。							
資格要件の確認方法	免除についての通知文、出願時の願書の職歴欄、在職証明(島根県内公立学校在職者以外)							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	2	5	7		5		19
	平成26年度採用者数(名)	1	2	3		3		9
	平成27年度受験者数(名)	1	4	10				15
	平成27年度採用者数(名)	1	2	8				11
	平成28年度受験者数(名)		6	8	1		1	16

(島根県2)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続			本年度新規			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	前年度2次試験の全ての試験を受験し、平成27年度(平成27年5月1日現在)で島根県内の公立学校に臨時的任用教職員として勤務していること。 前年度と同一区分に出願すること。							
資格要件の確認方法	前年度の試験結果 出願時の願書の職歴欄							
免除される試験科目	第1次試験一般教養・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	51	52	66	17	15	4	205

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(広島県・広島市)

対象となる校種・教科	本年度募集の各職種・校種・教科・科目	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	昨年度、第1次選考試験を合格し第2次選考試験を受験した者で、本年度の選考試験を同一の職種・校種・教科・科目で受験する者のうち、平成27年度(5月1日現在)に広島県・広島市の公立学校で育休任期付職員、臨時的任用職員、非常勤講師等として勤務している者(身体に障害のある者を対象とした特別選考の受験者を除く)。ただし、小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭を受験する者については、育休任期付職員、臨時的任用職員、非常勤講師等のうち授業者として教科指導を行う者。 ※ 社会人を対象とした特別選考、臨時的任用等教職経験者を対象とした特別選考及びスポーツ実績のある者を対象とした特別選考の受験者は、第1次選考試験免除の対象にはならない。							
資格要件の確認方法	昨年度の受験番号と本人情報により確認							
免除される試験科目	第1次選考試験の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	57	36	52	11	10		166
	平成26年度採用者数(名)	33	19	22	7	7		88
	平成27年度受験者数(名)	69	44	44	25	8		190
	平成27年度採用者数(名)	22	27	14	17	4		84
	平成28年度受験者数(名)	92	57	45	22	5		221

(山口県)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科等	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	前年度山口県公立学校教員採用候補者選考試験の第一次試験を受験し、第二次試験で不合格となった者のうち、総合評価ランクがA又はBであるものについては、第一次試験を免除する(平成27年度と同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)の選考試験が実施され、かつ同一の選考区分の志願区分(校種等)の教科(科目等)を志願する場合に限る。)。							
資格要件の確認方法	昨年度の選考資料及び第二次試験における本人に宛てた発送文書で確認							
免除される試験科目	第一次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	23	34	23	5	8		93
	平成26年度採用者数(名)	16	16	9	1	4		46
	平成27年度受験者数(名)	24	45	42	5	5		121
	平成27年度採用者数(名)	14	20	19	3	4		60
	平成28年度受験者数(名)	16	31	46	5	8		106

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(高知県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	1. 受験資格を満たし、前年度の選考審査の第1次審査の合格者で、第2次審査全てを受験した人。 2. 1.の要件を満たし、かつ、平成26年4月1日から平成27年5月12日までに、本県の国・公立学校臨時教員として1か月以上の発令を受けた人。 3. 1.の要件を満たし、かつ、平成27年4月1日現在、他都道府県の国・公立学校の正規の現職教員である人。							
資格要件の確認方法	本人の願書及び受験履歴で確認(願書確認後、人事管理担当に照会し、誤りでないことを再確認している)。							
免除される試験科目	1次審査の教職・一般教養及び面接							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	18	30	18	10	6	2	84
	平成26年度採用者数(名)	11	15	9	5	3	2	45
	平成27年度受験者数(名)	24	22	32	6	1		85
	平成27年度採用者数(名)	15	9	11	3	1		39
	平成28年度受験者数(名)	21	34	24	6	6		91

(福岡県)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	前年度の第一次試験合格者のうち、第二次試験での総合ランクがB以上の者で、合格した試験区分(高等学校教員については設置者ごと、併願受験者については合格した試験区分)及び教科(科目)と同一の試験を受験する場合							
資格要件の確認方法	出願時に前年度の第二次試験結果通知書の写しを提出させる。							
免除される試験科目	第一次試験の教職教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	15	37	17	7	3	4	83
	平成26年度採用者数(名)	11	12	9	2	2	2	38
	平成27年度受験者数(名)		40	36	2	8	3	89
	平成27年度採用者数(名)		15	17	0	5	0	37
	平成28年度受験者数(名)	1	60	29			7	97

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(佐賀県)

対象となる校種・教科	選考試験を実施する全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	下記の要件を満たす者で、「一般・教職教養試験免除申請書」を提出した者・前年度実施の佐賀県公立学校教員採用候補者選考試験において第二次試験を受験した者ただし、本年度も、前年度受験した第二次試験と同一試験区分・同一教科を受験する者に限る。							
資格要件の確認方法	事務局で照合し、確認を行う							
免除される試験科目	一般・教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	54	33	43	1	5	1	137
	平成26年度採用者数(名)	19	8	17	0	1	0	45
	平成27年度受験者数(名)	54	33	44	2	5	1	139
	平成27年度採用者数(名)	22	16	19	0	4	1	62
	平成28年度受験者数(名)	41	26	45	1	6		119

(長崎県)

対象となる校種・教科	募集する全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	平成27年度長崎県公立学校教員採用選考試験の第2次選考結果に係る通知書において、平成28年度採用選考試験の第1次試験の全てを免除することが記載されていた者。ただし、平成27年度に受験した第2次試験と同一校種・教科・科目を受験する者に限る。							
資格要件の確認方法	平成27年度長崎県公立学校教員採用選考試験の第2次選考結果に係る通知書の写しを出願時に添付する。							
免除される試験科目	第1次試験の全て							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	7	6	8	1	2		24
	平成27年度採用者数(名)	4	5	3	1	2		15
	平成28年度受験者数(名)	11	9	8		3		31

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(熊本県)

対象となる校種・教科	募集している全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	平成27年5月1日現在で、熊本県公立学校(熊本市立の学校を除く)の臨時的任用教員として受考する校種及び職種で任用されている者で、平成26年度実施した本県採用選考の第一次審査に合格し、第二次審査に不合格となった者で、平成26年4月1日から平成27年5月1日の間に受考する校種における臨時的任用教員等の経験が12か月以上あり、校長等の推薦を受け、県教育委員会で選考された者。							
資格要件の確認方法	提出書類及び人事記録							
免除される試験科目	第一次審査(教職科目・専門教科等)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	3	5	8	1	0	0	17
	平成26年度採用者数(名)	2	3	4	1	0	0	10
	平成27年度受験者数(名)	3	2	15	10	2	0	32
	平成27年度採用者数(名)	3	1	8	7	1		20
	平成28年度受験者数(名)	7	7	13	4	1		32

(大分県)

対象となる校種・教科	採用試験を実施する全校種、教科・科目(社会人特別選考を除く)	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	前年度本県実施試験において、第1次試験を受験し、第2次試験まで合格した者が、同一の志望種、教科・科目を受験する場合には、希望により第1次試験を免除する。							
資格要件の確認方法	免除を希望する者は、願書の該当欄(希望の有無、前年度実施試験の受験番号・願書記入の氏名)を記入する。担当課において、前年度データとの照合を行う。							
免除される試験科目	第1次試験で実施される試験の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	53	21	17	15	9		115
	平成26年度採用者数(名)	16	13	9	9	4		51
	平成27年度受験者数(名)	62	24	19	18	9		132
	平成27年度採用者数(名)	27	12	11	7	4		61
	平成28年度受験者数(名)	48	24	12	8	8		100

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(浜松市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	前年度(平成27年度)浜松市立小・中学校教員採用選考第1次選考試験合格者							
資格要件の確認方法	担当課による確認							
免除される試験科目	第1次選考の教職教養・一般教養							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	23	22			4		49
	平成26年度採用者数(名)	7	4			1		12
	平成27年度受験者数(名)	22	17			8		47
	平成27年度採用者数(名)	7	4			2		13
	平成28年度受験者数(名)	24	30			6		60

(京都市)

対象となる校種・教科	募集を行う全区分	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	選考区分の要件を満たし、かつ前年度第1次試験合格者であること。 ※ただし、第2次試験辞退者及び内定辞退者を除く。また、昨年度合格区分と同一区分を専願する場合に限る。							
資格要件の確認方法	志願書提出時に昨年度第1次合格通知書の写しを提出							
免除される試験科目	第1次試験全部免除							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	73	70	22	25	6	3	199
	平成26年度採用者数(名)	18	23	6	9	1	2	59
	平成27年度受験者数(名)	60	61	20	15	7	4	167
	平成27年度採用者数(名)	38	17	6	9	1	1	72
	平成28年度受験者数(名)	54	70	11	21	7	3	166

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(大阪市)

対象となる校種・教科	全て	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	前年度第1次選考で「合格」と判定され、第2次選考で「不合格」と判定された人。一般選考の受験資格を満たす必要がある。							
資格要件の確認方法	前年度選考テストの受験番号							
免除される試験科目	第1次選考							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	96	113	18	39	17		283
	平成26年度採用者数(名)	36	39	4	21	3		103
	平成27年度受験者数(名)	129	89	13	33	4	8	276
	平成27年度採用者数(名)	82	34	5	13	0	0	134
	平成28年度受験者数(名)	138	105	22		11	1	277

(神戸市)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校、高等学校、養護教諭、栄養教諭、幼稚園	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	49	歳以下				
資格要件	前年度実施の採用候補者選考で第1次選考に合格し第2次選考を有効に受験し不合格と判定された者で、今年度実施する採用候補者選考において、臨時的任用教員の要件に該当する者に対して、前年度に合格した第1次選考と同一の試験区分・教科を受験する場合に限り、希望により第1次選考を免除。							
資格要件の確認方法	2次選考結果通知の提出							
免除される試験科目	集団面接、1次試験の実技試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	36	25	3	2	3	1	70
	平成26年度採用者数(名)	16	15	1	0	2	0	34
	平成27年度受験者数(名)	15	29	2	4	5	1	56
	平成27年度採用者数(名)	8	14	2	1	2	1	28
	平成28年度受験者数(名)	18	20		2	2	1	43

＜前年度第1次試験(第2次試験)合格者であることによる免除＞

(福岡市)

対象となる校種・教科	全校種、全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	平成27年度福岡市立学校教員採用候補者選考試験において、第1次試験に合格した人							
資格要件の確認方法	平成27年度採用試験データと照合							
免除される試験科目	第1次試験(筆記)で教職教養試験免除							
免除された試験に代わり課される試験	無し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	124	77	1	20	9	1	232
	平成26年度採用者数(名)	36	9	0	3	3	0	51
	平成27年度受験者数(名)	95	74	3	12	17	3	204
	平成27年度採用者数(名)	12	12	1	3	3	0	31
	平成28年度受験者数(名)	113	81	1	15	12	4	226

(豊能地区)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	前年度採用選考テストにおいて、第1次選考で合格と判定された上で、第2次選考を有効に受験し、不合格と判定された人							
資格要件の確認方法	「第1次選考免除について」を提出							
免除される試験科目	第1次選考(面接、筆答テスト)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	35	16			3		54
	平成27年度採用者数(名)	11	1			1		13
	平成28年度受験者数(名)	69	52			6		127

(9) その他の資格や経歴等による免除

(北海道・札幌市1)

対象となる校種・教科	高等学校及び特別支援学校(高等部)の商業	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	<ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定1級合格者又は全経簿記検定上級合格者 ・税理士試験の財務諸表論又は簿記論の科目合格者 ・公認会計士又は税理士の資格取得者 							
資格要件の確認方法	当該実施団体の発行する資格証明書又は資格を証明できる書類の写し若しくは原本を出願時に提出(写しを提出した場合は第1次検査時に原本を確認)							
免除される試験科目	第1次検査～専門検査(I)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			2				2
	平成26年度採用者数(名)			1				1
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)							0

(北海道2)

対象となる校種・教科	小学校	新規・継続			継続			
		特別免許状の活用			無			
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	39	歳以下				
資格要件	日高、宗谷、根室管内のいずれかの管内に限って勤務できる者							
資格要件の確認方法	願書の「選考区分」欄に記入するとともに、地域に根ざした教育に対する意欲・情熱や志望動機等を記載したレポートを提出する。							
免除される試験科目	第1次検査における教養検査							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	38						38
	平成26年度採用者数(名)	11						11
	平成27年度受験者数(名)	51						51
	平成27年度採用者数(名)	13						13
	平成28年度受験者数(名)	47						47

(秋田県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	平成26年度を含む連続する3年間、秋田県で講師登録歴があり、平成27年度秋田県公立学校教諭等採用候補者選考試験における第一次選考試験の「総合教養」の成績が優秀な者で、平成28年度試験において、同一校種・同一教科(科目)を受験する者。ただし、出願時に平成26年度の講師登録が完了していることを条件とする。							
資格要件の確認方法	受験手続の際に、平成27年度採用候補者第一次選考試験結果通知の写しを添付する。							
免除される試験科目	総合教養(教職教養、時事問題)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	16	23	26	8	1		74

(東京都1)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	前々年度名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿で確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考集団面接							
免除された試験に代わり課される試験	個人面接のみ別日程で実施							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							26
	平成26年度採用者数(名)							8
	平成27年度受験者数(名)							15
	平成27年度採用者数(名)							3
	平成28年度受験者数(名)							0

(東京都2)

対象となる校種・教科	全校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	平成26年度期限付任用教員名簿登載者							
資格要件の確認方法	名簿で確認							
免除される試験科目	第一次選考、第二次選考(実技)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							458
	平成26年度採用者数(名)							107
	平成27年度受験者数(名)							87
	平成27年度採用者数(名)							32
	平成28年度受験者数(名)							0

(新潟県1)

対象となる校種・教科	高等学校教諭・農業	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願資格を満たし、さらに次の高度な技術資格を出願時に有する者・技術士(農業部門、森林部門)							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しで確認し、2次検査で原本を確認							
免除される試験科目	第1次検査の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)							0

(新潟県2)

対象となる校種・教科	高等学校教諭・工業	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願資格を満たし、さらに次の高度な技術資格を出願時に有する者・技術士(機械部門、電気・電子部門、建設部門)							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しで確認し、2次検査で原本を確認							
免除される試験科目	第1次検査の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)							0
	平成27年度採用者数(名)							0
	平成28年度受験者数(名)							0

(新潟県3)

対象となる校種・教科	高等学校教諭・水産	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	出願資格を満たし、さらに次の高度な技術資格を出願時に有する者・技術士(水産部門)							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しで確認し、2次検査で原本を確認							
免除される試験科目	第1次検査の全て							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)							0

(福井県)

対象となる校種・教科	全ての校種・教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	(ア)平成27年度教員採用選考試験(平成26年実施)受験者のうち、第1次選考合格者及び第1次選考不合格者の中で「一般教養」と「教職専門」の両方が基準に達していた者で、「講師等の条件」を満たす者。(イ)受験時に教職大学院(学校教育法設置基準に基づき設置された教職大学院)2年在学者で、平成26年度又は平成27年度教員採用選考試験を受験し、そのうち直近の試験において免除条件を満たす者(第1次選考合格者及び第1次選考不合格者の中で「一般教養」と「教職専門」の両方が基準に達していた者)で、専修免許状を平成28年3月31日までに取得見込の者 (ウ)平成27年度教員採用選考試験(平成26年実施)の第1次選考一部免除受験者のうち、免除申請が連続3回未満の者で「講師等の条件」を満たす者(平成25年度選考までの受験者に対する経過措置)							
資格要件の確認方法	辞令の写し又は教職大学院の在学証明書の提出							
免除される試験科目	第1次選考試験の一部(一般教養、教職専門)							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	116(22)	153(82)	65(25)	20(3)	8	0	230
	平成26年度採用者数(名)	33	24	18	6	4	0	85
	平成27年度受験者数(名)	152(23)	183(101)	89(32)	35(6)	16	2	315
	平成27年度採用者数(名)	38	33	11	9	8	1	100
	平成28年度受験者数(名)	80(6)	105(43)	60(27)	23(3)	11	4	204

(岐阜県)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭、 高等学校教諭、特別支援学校教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	59	歳以下				
資格要件	現在、教職大学院に在学中の者で、平成27年度末に修了予定の者							
資格要件の確認方法	在学証明書にて確認							
免除される試験科目	第1次選考試験を免除							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	6	4	3				13
	平成26年度採用者数(名)	1	4	0				5
	平成27年度受験者数(名)	8	14					22
	平成27年度採用者数(名)	3	5					8
	平成28年度受験者数(名)	10	16	6				32

(滋賀県)

対象となる校種・教科	小・中・高	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	教諭一種(専修)普通免許状取得のための課程認定を受けている大学、大学院及び教職大学院並びに過去の滋賀県公立学校教員採用選考試験で採用実績がある大学、大学院及び教職大学院のうち、滋賀県教育委員会が指定する大学の卒業見込み者若しくは修了見込み者で、推薦要件を満たす場合、学長等が推薦する者。							
資格要件の確認方法	出願時に、在学する大学等の学長等が作成した「大学推薦推薦書」を提出							
免除される試験科目	一般教養・教職教養、専門教科・科目							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	24	29	3				56
	平成27年度採用者数(名)	23	25	1				49
	平成28年度受験者数(名)	33	35	28				96

(兵庫県1)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	「平成24年度実施又は平成25年度実施の本県教員採用試験の第2次選考試験において“1次試験免除”と判定された者」で、平成25年4月1日から平成27年3月31日の間に、兵庫県の公立学校(ただし、神戸市立学校を除く)において、1.常勤の臨時講師として1年以上の勤務経験を有する者、又は、本県教育委員会任用の非常勤講師として1年以上、2.正規の勤務時間(週38時間15分)の半分以上勤務、あるいは3.週12時間以上授業を担当する者							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要) 第1次筆答試験を受験した年度の合否結果資料							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	55	19	11	13	1	0	99
	平成26年度採用者数(名)	30	8	7	7	1	0	53
	平成27年度受験者数(名)	20	17	12	5	3	1	58
	平成27年度採用者数(名)	13	9	5	2	2	1	32
	平成28年度受験者数(名)	11	14	4	1	2	0	32

(兵庫県2)

対象となる校種・教科	高等学校・看護	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	「高等学校・看護」の免許を有する者で、平成28年3月31日現在、休職、育児休業の期間を除き、国公立及び民間病院等において正規職員の看護師として5年以上の勤務経験を有する者(看護学校等の教官経験を含む)							
資格要件の確認方法	職歴証明書(任意様式。所属長又は任命権者の証明印が必要)							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			0				0
	平成26年度採用者数(名)			0				0
	平成27年度受験者数(名)			0				0
	平成27年度採用者数(名)			0				0
	平成28年度受験者数(名)			0				0

(兵庫県3)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成26年度実施の本県教員採用試験の第2次試験において「1次試験免除」と判定された者							
資格要件の確認方法	昨年度の合否結果資料							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	76	51	36	6	10	3	182
	平成26年度採用者数(名)	47	27	17	2	5	1	99
	平成27年度受験者数(名)	59	44	19	1	5	0	128
	平成27年度採用者数(名)	31	28	15	0	3	0	77
	平成28年度受験者数(名)	80	57	47	5	0	3	192

(宮崎県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続		本年度新規				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	40	歳以下				
資格要件	平成27年度(平成26年度実施)宮崎県公立学校教員採用選考試験における補欠者							
資格要件の確認方法	平成27年度(平成26年度実施)採用選考試験データと照合。 なお、該当者で、第一次選考試験の免除を希望する者は、受験願書に明記。							
免除される試験科目	第一次選考試験							
免除された試験に代わり課される試験	無							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	4	5	1	1			11

(さいたま市)

対象となる校種・教科	小・中・養護・栄養	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	58	歳以下				
資格要件	前年度採用選考試験の補欠の者、「臨任採用」の者で、同一校種・教科等を受験する場合。							
資格要件の確認方法	志願書による確認							
免除される試験科目	第1次試験							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	20	34					54
	平成26年度採用者数(名)	12	25					37
	平成27年度受験者数(名)	14	21					35
	平成27年度採用者数(名)	4	14					18
	平成28年度受験者数(名)	18	16					34

(名古屋市)

対象となる校種・教科	小学校教員	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	49	歳以下				
資格要件	平成27年6月に、なごや教師養成塾を卒業する見込みの人							
資格要件の確認方法	卒業見込証明書							
免除される試験科目	1次試験の「総合教養」「小論文」「口述」を免除							
免除された試験に代わり課される試験								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	58						58
	平成26年度採用者数(名)	49						49
	平成27年度受験者数(名)	65						65
	平成27年度採用者数(名)	62						62
	平成28年度受験者数(名)	62						62

(京都市)

対象となる校種・教科	中学校・理科、中学校・数学、 高等学校・理科、高等学校・数学、高等学校・工業	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	44	歳以下				
資格要件	志願する教科の普通免許状を有するか、平成28年4月1日に取得見込みであること。							
資格要件の確認方法	採用前に免許状を提出。							
免除される試験科目	第1次試験 一般教職教養試験							
免除された試験に代わり課される試験	第1次試験 論文							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)		31	12				43
	平成27年度採用者数(名)		2	2				4
	平成28年度受験者数(名)		19	10				29

(大阪市)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、養護教諭	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と異なる	満	59	歳以下				
資格要件	平成26年度大阪市教師養成講座を修了した人							
資格要件の確認方法	平成26年度大阪市教師養成講座の受講者番号							
免除される試験科目	第1次選考							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	71	49			7		127
	平成26年度採用者数(名)	37	17			1		55
	平成27年度受験者数(名)	74	32			4		110
	平成27年度採用者数(名)	53	9			3		65
	平成28年度受験者数(名)	75	47			3		125

(神戸市)

対象となる校種・教科	中・高等学校の数学、理科、技術	新規・継続		継続				
		特別免許状の活用		無				
年齢制限	基本的年齢制限と同じ	満	45	歳以下				
資格要件	数学、理科又は技術の中学校教諭普通免許状取得の課程認定を受けている大学、大学院又は教職大学院の学長又は学部長が推薦する者							
資格要件の確認方法	成績証明書、推薦書							
免除される試験科目	集団面接、教職・一般教養、専門教科							
免除された試験に代わり課される試験	なし							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)		46					46
	平成26年度採用者数(名)		17					17
	平成27年度受験者数(名)		47					47
	平成27年度採用者数(名)		27					27
	平成28年度受験者数(名)		37					37

(10)特定の資格や経歴等による加点制度

(岩手県)

対象となる校種・教科	中学校、高等学校及び特別支援学校 中学部・高等部の外国語(英語)受験者	新規・継続	本年度新規					
資格要件	実用英語技能検定準1級以上、又はTOEIC730点以上、又はTOEFL(iBT)80点以上を平成22年4月1日以降に取得した者に対し、第1次選考の教科等専門科目の得点に20点を加点する。							
資格要件の確認方法	合各証書、又は得点証明書の写しの写しを提出させ確認							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	0	7	8	1	0	0	16

(茨城県)

対象となる校種・教科	一般選考で採用する小中高特・教科	新規・継続	本年度新規					
資格要件	[全校種]・博士号を取得し、受験する学校種・教科の専修免許状を有する方・司書教諭の資格を有する方・英検準1級以上、TOEFL PBT550点以上(CBT213点以上、iBT80点以上)、TOEIC730点以上、TOEIC& TOEIC SW1028点以上、GTEC CBT1197点以上のいずれかの英語の資格を有する方(高校英語を除く)[小・中・特別支援学校(英語を除く)]・英検2級以上、TOEFL PBT475点以上(CBT153点以上、iBT53点以上)、TOEIC540点以上、TOEIC& TOEIC SW710点以上、GTEC CBT 925点以上のいずれかの英語の資格を有する方 [小・中学校]・特別支援学校教諭等の免許状を有する方・小学校教諭と中学校教諭の両方の免許状を有する方 [中学校]・中学校教諭の複数教科の免許状を有する方 [高等学校]・「情報」の免許状を有する方・「地理歴史」の受験者で「公民」の免許状を有する方・「公民」の受験者で「地理歴史」の免許状を有する方・「福祉」又は「看護」の免許状を有する方 [特別支援学校]・小学校、中学校及び高等学校の3校種の免許状を有している方・小学校及び中学校、又は小学校及び高等学校の2校種の免許状を有している方・中学校及び高等学校教諭の特定の免許状(数学)を有している方 (合計が20点以上の場合は20点とすること。)							
資格要件の確認方法	・既得の免許状等については、その写しに原本証明をもらい、受付期間内に持参又は郵送により提出 ・取得見込みの免許状については、その取得見込証明書を、受付期間内に持参又は郵送により提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	397	197	94	55	0	0	743

(埼玉県)

対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・養護教員・栄養教員	新規・継続	本年度新規					
資格要件	◆国際貢献活動(全志願区分)…独立行政法人国際協力機構の規定に基づく青年海外協力隊員又は日系社会青年ボランティアとして、出願時までに24か月以上の国際貢献活動経験を有する者。 ◆英語に関する資格等(中・高英語教員)…次のア～ウのいずれかに該当する者。ア:実用英語技能検定((公財)日本英語検定協会)1級合格者。イ:TOEIC(国際ビジネスコミュニケーション協会)895点以上の取得者。ウ:TOEFL(国際教育交換協議会)iBT100点以上取得者。 ◆スポーツ実績(中・高教員)…次のア、イのいずれかに該当する者。ア:指定された大会(国際大会・国内大会)に選手として登録された者。イ:剣道四段以上又は柔道四段以上の者。(中学校のみ) ◆特別支援学級担当(小・中)…次のア、イの両方を満たす者。ア 特別支援学校教諭普通免許状を所有している者。イ 小・中学校の特別支援学級等での特別支援教育担当教員を強く希望する者。※この加点を受けて合格した者は、埼玉県公立小・中学校の特別支援学級担任として優先的に配置する。							
資格要件の確認方法	証明書等の原本及び写し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	35	81	37	1			154

(新潟県)

対象となる校種・教科	小学校教諭、中学校教諭・音楽、美術、技術、家庭、高等学校教諭	新規・継続	本年度新規					
資格要件	小学校教諭の受験者で、中学校教諭「英語」又は高等学校教諭「英語」の普通免許状も所有する者。 小学校教諭の受験者で、実用英語技能検定2級以上、TOEIC 540点以上、TOEFLのPBT 480点以上若しくはCBT 173点以上、iBT 61点以上の取得のうち、いずれかの資格を有する者。 中学校教諭「音楽」「美術」「技術」「家庭」の受験者で、中学校の出願する教科以外の普通免許状も所有する者。 高等学校教諭の受験者で「情報」の普通免許状も所有する者。高等学校「書道」の受験者で、高等学校教諭「国語」の免許状も所有する者。 高等学校教諭「家庭」の受験者で、調理師の資格を有する者。							
資格要件の確認方法	出願時に、免許状及び資格を証明する書類の写しを提出、第1次検査時に、原本を持参。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	78	15	26				119

(富山県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続	本年度新規					
資格要件	ア～オの教員免許又は英語資格を出願時に有する志願者には、「加点申請」することにより第1次検査に限り、総合点(250点満点)に5点加点をして選考を行う。 ア 特別支援学校教諭 対象校種: 小学校、中学校・高等学校 イ 中学校教諭(英語)又は高等学校教諭(英語) 対象校種: 小学校 ウ 実用英語技能検定(財団法人日本英語検定協会)準1級以上 エ TOEIC(財団法人国際ビジネスコミュニケーション協会) 730点以上 オ TOEFL(国際教育交換協議会) iBT80点以上又はPBT550点以上							
資格要件の確認方法	願書の「所定の要件による加点申請希望」欄に○を記入するとともに、必要な提出物を出願時に同封させ、確認する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)							0

(三重県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続	継続					
資格要件	ア 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭の受験者で要項に示した組み合わせの複数の教育職員免許状を有する人 イ 全ての校種等の受験者で教育現場に必要なポルトガル語又はスペイン語を理解し、特に口頭で表現できる人 ウ 中学校教諭又は高等学校教諭の「英語」以外の受験者で要項に示した資格を有する人 エ 中学校教諭又は高等学校教諭の「英語」の受験者で要項に示した資格を有する人 オ 高等学校教諭の「商業」の受験者で要項に示した資格を有する人 カ スポーツ特別選考以外の受験者でスポーツで特に優れた実績(要項に示した競技及び実績に限る) キ 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭の受験者で司書教諭の資格を有する人 ク 養護教諭の受験者で看護師免許を現に有する人 ケ 全ての校種等の受験者で言語聴覚士、理学療法士、作業療法士の資格を現に有する人 コ 全ての校種等の受験者で臨床心理士の資格を現に有する人							
資格要件の確認方法	・申請時に資格を証明する書類の写しを提出(ア、ウ、エ、オ、カ、キ、ク、ケ、コ) ・1次選考試験当日に原本確認(カ)							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							1,054
	平成26年度採用者数(名)							307
	平成27年度受験者数(名)							1,031
	平成27年度採用者数(名)							250
	平成28年度受験者数(名)							1,048

(奈良県)

対象となる校種・教科	小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭、栄養教諭、実習助手	新規・継続	継続					
資格要件	1. 小学校又は中学校を受験する者で、小学校及び中学校教諭普通免許状を共に所有する者 2. 中学校・高等学校外国語(英語)以外を受験する者で、実用英語技能検定2級合格以上、TOEIC650点以上、TOEFLのPBT500点以上若しくはCBT173点以上、iBT61点以上取得のうちいずれかの資格を有する者 中学校・高等学校外国語(英語)を受験する人で、実用英語技能検定1級合格、TOEIC860点以上、TOEFLのPBT600点以上若しくはCBT250点以上、iBT100点以上取得のうちいずれかの資格を有する者 3. 臨床心理士、社会福祉士、精神保健福祉士のいずれかの資格を所有する者							
資格要件の確認方法	第1次試験時の教員免許証コピー、資格証明書コピーの提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	471	330	162	55	27	5	1,050
	平成26年度採用者数(名)	99	55	18	8	4	0	184
	平成27年度受験者数(名)	396	224	69	36	27	3	755
	平成27年度採用者数(名)	107	45	14	6	1	0	173
	平成28年度受験者数(名)	315	99	26	14	3	1	458

(広島県・広島市)

対象となる校種・教科	小学校、中学校・高等学校(外国語 英語)	新規・継続	本年度新規					
資格要件	一般選考において、小学校教諭、中学校・高等学校教諭の外国語(英語)を受験する者で、基準を満たす者に対し、第1次選考試験の筆記試験の得点に加点する。なお、団体受験制度(TOEIC IPテスト等)のスコアも加点の対象に含める。							
資格要件の確認方法	英語の資格を証明できる書類を提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	12	23	38				73

(徳島県)

対象となる校種・教科	高等学校教諭・英語	新規・継続	継続					
資格要件	英検1級及び準1級相当の資格取得者には、その資格の程度によって、第1次審査の総合得点に加算する。							
資格要件の確認方法	提出する資格証明書の写しと原本を確認							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)			20				20
	平成26年度採用者数(名)			3				3
	平成27年度受験者数(名)			27				27
	平成27年度採用者数(名)			5				5
	平成28年度受験者数(名)			30				30

(愛媛県)

対象となる校種・教科	小(資格要件2、11～15以外)、中(8～10、12～15以外)、高(7～11、15以外)、特支(1、2、7～15以外)、養教(1～4、6～14以外)、栄教(1～4、6～15以外)	新規・継続		継続				
資格要件	1.スポーツの分野(選手として全国規模の大会出場以上)、2.スポーツの分野(指導者として全国規模の大会出場以上)、3.芸術・文化の分野(全国規模以上のコンクール・展覧会等で特に優秀な成績)、4.高い英語力(英語検定1級合格者、TOEFL PBT600点以上、TOEIC 860点以上)、5.正しい日本語力(日本語検定1級合格者)、6.司書教諭の有資格者、7.特別支援学校教諭免許状取得者、8.中学校理科教諭又は高等学校理科教諭免許状取得者、9.中学校音楽教諭又は高等学校音楽教諭免許状取得者、10.中学校外国語教諭又は高等学校外国語教諭免許状取得者、11.受験教科以外の教科の中学校教諭免許状又は小学校教諭免許状取得者、12.理科の中学校教諭免許状取得者、13.情報の高等学校教諭免許状取得者、14.福祉の高等学校教諭免許状取得者、15.保健師免許証取得者、16.青年海外協力隊派遣(2年間程度)、17.臨床心理士の有資格者							
資格要件の確認方法	出願時に証明する書類の写しを提出させるとともに、試験当日に現物を確認する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	181	76	123	7	16		403
	平成26年度採用者数(名)	30	12	20	1	4		67
	平成27年度受験者数(名)	188	70	109	9	11		387
	平成27年度採用者数(名)	43	16	14	5	2		80
	平成28年度受験者数(名)	182	65	107	5	15		374

(高知県)

対象となる校種・教科	全校種・全教科(校種、教科指定あり)	新規・継続		継続				
資格要件	1.司書の資格、司書教諭の資格 2.臨床心理士 3.特別支援学校受験者で手話通訳士取得 4.小学校教諭受験者で普通免許状「英語」、「理科」又は「数学」取得 5.中学校教諭受験者で、中学校の複数教科免許取得 6.盲学校、聾学校、養護学校、特別支援学校教諭取得 7.英語教諭受験者で英語に関する検定 8.スポーツ分野の実績 9.中学校保健体育教諭受験者で柔道、剣道、相撲の3段以上の段位取得者 10.理数系教員(CST)養成拠点構築プログラム修了者							
資格要件の確認方法	資格証明書などの複写の提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	50	61	37	27			175
	平成26年度採用者数(名)	19	10	2	8			39
	平成27年度受験者数(名)	45	40	44	26	1		156
	平成27年度採用者数(名)	19	10	6	11	1		47
	平成28年度受験者数(名)	55	39	45	24			163

(佐賀県)

対象となる校種・教科	下記の資格要件参照	新規・継続	継続					
資格要件	1. 受験する区分・教科の専修免許状を有する者 2. 小学校教諭等の受験者で、中学校教諭又は高等学校教諭の「数学」「理科」又は「英語」の免許状を有する者 3. 小学校教諭等、中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(小学部・中学部)の受験者で、小学校教諭免許状と中学校教諭免許状を共に有する者 4. 小学校教諭等及び中学校教諭等の受験者で、盲学校教諭、聾学校教諭、養護学校教諭又は特別支援学校教諭の免許状を有する者 5. 中学校教諭等及び特別支援学校教諭等(中学部)の受験者で、中学校教諭の複数教科の免許状を有する者 6. 高等学校教諭等の受験者で、「情報」の免許状を有する者 7. 高等学校教諭等の受験者で、「福祉」又は「看護」の免許状を有する者 8. 高等学校教諭等の『地理歴史』の受験者で、「公民」の免許状を有する者 9. 高等学校教諭等の『家庭』の受験者で、「調理師」「栄養士」又は「管理栄養士」の免許を有する者 10. 養護教諭等の受験者で、「看護師」及び「保健師」の免許を有する者 11. 養護教諭等の受験者で、「看護師」又は「保健師」の免許を有する者 12. 中学校教諭等の『保健体育』の受験者で、柔道、剣道、相撲又はなぎなたの3段以上を有する者 13. 非常に高い英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 1級合格 ・TOEIC 860点以上 ・TOEFL iBT 100点以上、CBT 250点以上又はPBT 600点以上 14. 高い英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 準1級合格 ・TOEIC 730点以上 ・TOEFL iBT 79点以上、CBT 213点以上又はPBT 550点以上 15. 高い英語力(下記のいずれか)を有する者 ・実用英語技能検定 2級合格 ・TOEIC 500点以上 ・TOEFL iBT 52点以上、CBT 150点以上又はPBT 470点以上 16. 臨床心理士の資格を有する者 17. 学校図書館司書教諭の資格を有する者 18. 日本語教育能力検定試験に合格した者 19. 3か月以上の海外留学経験を有する者(ただし、教育委員会が適当と認めるものに限る) 20. 青年海外協力隊又は日系社会青年ボランティアとして2年以上の経験を有する者							
資格要件の確認方法	証明書等の提出により、事務局で確認する。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	235	142	138	11	15	0	541
	平成26年度採用者数(名)	109	42	31	0	6	0	188
	平成27年度受験者数(名)	164	75	93	1	8	0	341
	平成27年度採用者数(名)	79	44	22	1	5		151
	平成28年度受験者数(名)	194	142	154	11	26		527

(鹿児島県)

対象となる校種・教科	小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の全教科、養護教諭、栄養教諭	新規・継続	継続					
資格要件	(1) 中学校教員の複数教科の普通免許状を保有している者 (2) 小学校教員普通免許状と中学校教員普通免許状をともに保有している者 (3) 小学校教員、中学校教員、高等学校教員のいずれかの普通免許状を保有している者で、かつ特別支援学校教員の普通免許状を保有している者 (4) 小学校の受験者で、実用英語技能検定試験1級又は準1級、TOEIC730点以上、TOEFL550点以上(PBT)・79点以上(iBT)の者 (5) 高等学校の受験者で、「情報」の普通免許状を保有している者 (6) 栄養教諭又は高校「家庭」の受験者で、管理栄養士又は調理師の免許証を保有している者 (7) 養護教諭又は「看護」の受験者で、看護師又は保健師の免許証を保有している者 (8) 司書教諭の資格を保有している者 (9) 独立行政法人国際協力機構法の規定に基づく青年海外協力隊及び日系社会青年ボランティアに隊員として2年以上の実績をもつ者							
資格要件の確認方法								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	580	212	186		19	9	1,006
	平成26年度採用者数(名)	68	26	18		5	2	119
	平成27年度受験者数(名)	475	178	140	139	19	10	961
	平成27年度採用者数(名)	67	16	10	24	4	1	122
	平成28年度受験者数(名)	446	168	147	43	26	9	839

(沖縄県)

対象となる校種・教科	ア 全校種・教科 イ 全校種・教科 ウ 高等学校教諭等「水産」	新規・継続	本年度新規					
資格要件	ア 出願の時点で有効な、1以上の領域における特別支援学校教諭普通免許状(盲・聾・養護学校普通免許状を含む。)を有している者に10点の加点 イ 青年海外協力隊その他のボランティア(独立行政法人国際協力機構が派遣するものに限る)として、海外に2年以上派遣された経験を有している者に20点の加点 ウ 高等学校教諭等「水産」を受験する者で、三級海技士(機関)の資格又はこれより上級の資格の海技士(機関)の資格を有している者に20点の加点							
資格要件の確認方法	ア 一般選考の出願書類に加えて、対象となる免許状の写しを添付すること。 イ 一般選考の出願書類に加えて、独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局長が発行した派遣証明書を提出すること。 ウ 一般選考の出願書類に加えて、海技免状の写しを提出すること。							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
平成28年度受験者数(名)	53	40	49	97			239	

(新潟市)

対象となる校種・教科	小学校 中学校音楽・技術・家庭	新規・継続	本年度新規					
資格要件	1. 小学校受験者で中学・高校の英語教諭の普通免許状を所有していること 2. 小学校受験者で英検2級以上、若しくはそれと同等の資格(TOEIC540点以上、TOEFLのPBT480点以上、若しくはCBT173点以上、iBT61点以上)を所有していること 3. 中学校教諭は他教科の免許状を所有していること							
資格要件の確認方法	いずれかを証明する書類の写しを出願時に提出、かつ検査当日に原本の確認							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
平成28年度受験者数(名)	24	3					27	

(静岡市)

対象となる校種・教科	小学校・中学校教員	新規・継続	本年度新規					
資格要件	1. 小学校の受験者で、実用英語技能検定試験準1級以上、TOEFL(iBT)80点以上、TOEIC730点以上のいずれかを出願時点において保有 2. 小・中学校の受験者で、必要な免許状に加え、特別支援学校教諭普通免許状を取得(見込みを含む)							
資格要件の確認方法	英語資格については出願時に証明書の写しを提出、特別支援学校教諭普通免許状については、内定後に免許状の写しを提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
平成28年度受験者数(名)	7	2					9	

(浜松市)

対象となる校種・教科	全校種・全教科	新規・継続				継続		
資格要件	小学校教諭と中学校教諭の普通免許状の両方を取得又は取得見込みの者、中学校複数教科普通免許状を取得又は取得見込みの者、司書教諭免許取得の者、特別支援学校教諭普通免許状を取得又は取得見込みの者、保健師又は看護師免許取得、臨床心理士資格取得の者							
資格要件の確認方法	免許及び資格の写しを提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)	224	69			6		299
	平成26年度採用者数(名)	53	13			0		66
	平成27年度受験者数(名)	234	71			8		313
	平成27年度採用者数(名)	60	20			0		80
	平成28年度受験者数(名)	236	65			6		307

(京都市)

対象となる校種・教科	小学校	新規・継続				継続		
資格要件	小学校の普通免許状を有するか、平成28年4月1日までに取得見込みであることとともに以下のいずれかの条件を満たすこと 1. 中学校英語又は高等学校英語の普通免許状を有するか、平成28年4月1日までに取得見込みであること。 2. 実用英語技能検定準1級以上の資格を所有していること。 3. TOEFL 550点以上(iBTの場合は80点以上)の資格を所有していること。 4. TOEIC 730点以上(SWを含む場合は1095点以上)の資格を所有していること。							
資格要件の確認方法								
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	39						39
	平成27年度採用者数(名)	7						7
	平成28年度受験者数(名)	32						32

(大阪市)

対象となる校種・教科	小学校	新規・継続				本年度新規		
資格要件	中学校教諭又は高等学校教諭の「英語」普通免許状の所有、英検2級以上合格、TOEFL(iBT)57点以上取得、IELTS4.0以上取得、TOEIC550点以上取得のいずれかを満たす人							
資格要件の確認方法	第2次選考後、合格者のみ証明書等の写しを提出							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							—
	平成26年度採用者数(名)							—
	平成27年度受験者数(名)							—
	平成27年度採用者数(名)							—
	平成28年度受験者数(名)	129						129

(堺市)

対象となる校種・教科	(1)「小学校・小学部」「中学校・中学部(全教科)」(2)「小学校・小学部」(3)「小学校・小学部」「中学校・中学部(全教科)」 「小中一貫・連携推進(全教科)」	新規・継続	継続					
資格要件	(1)特別支援学校教諭普通免許状(知的障害者、肢体不自由者及び病弱者に関する領域のいずれか)を有し(見込みを含む)、特別支援学校を第一志望とすること。 (2)次のいずれかの英語検定資格を取得していること ・実用英語検定2級以上 ・TOEIC540点以上 ・TOEFL480点以上(CBT157点以上、iBT54点以上) (3)小学校教諭普通免許状と中学校教諭普通免許状の両方を有すること(見込みを含む)							
資格要件の確認方法	・必要免許状の写し ・英語検定等の資格を証明する書類の写し							
実施状況		小	中	高	特支	養教	栄教	合計
	平成26年度受験者数(名)							0
	平成26年度採用者数(名)							0
	平成27年度受験者数(名)	119	24					143
	平成27年度採用者数(名)	27	1					28
平成28年度受験者数(名)							0	